



R18

Sub Rosa

Riquet × Nero

Caution!

男性賢者が出ます。
諸々の設定を捏造しています。
顔アリのモブキャラが複数出てきます。

一部アプリ及びコミカライズの設定を参考にしています。



りんごパイ
美味しい！

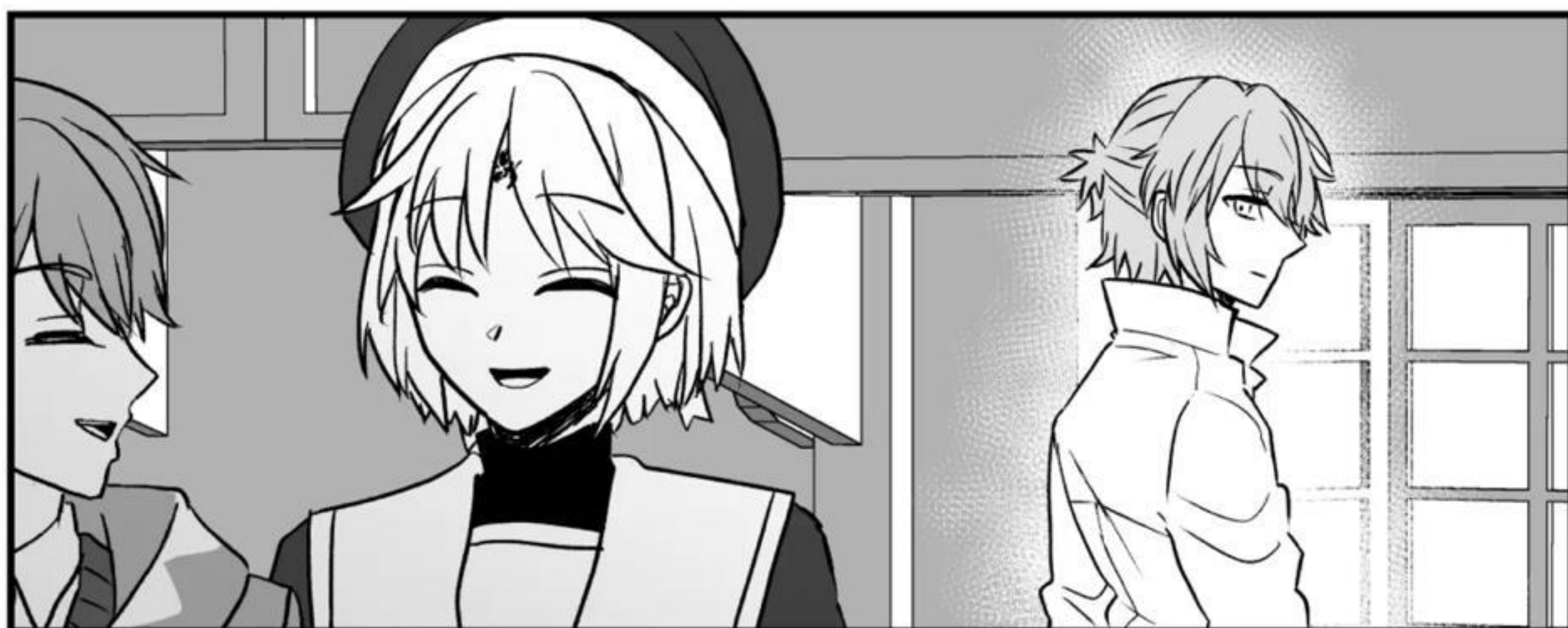
ネロさん
美味しいです

喜んでもらえて
良かったよ

おかわりも
あるからな

わーい！









今日の食事も
美味しかったです

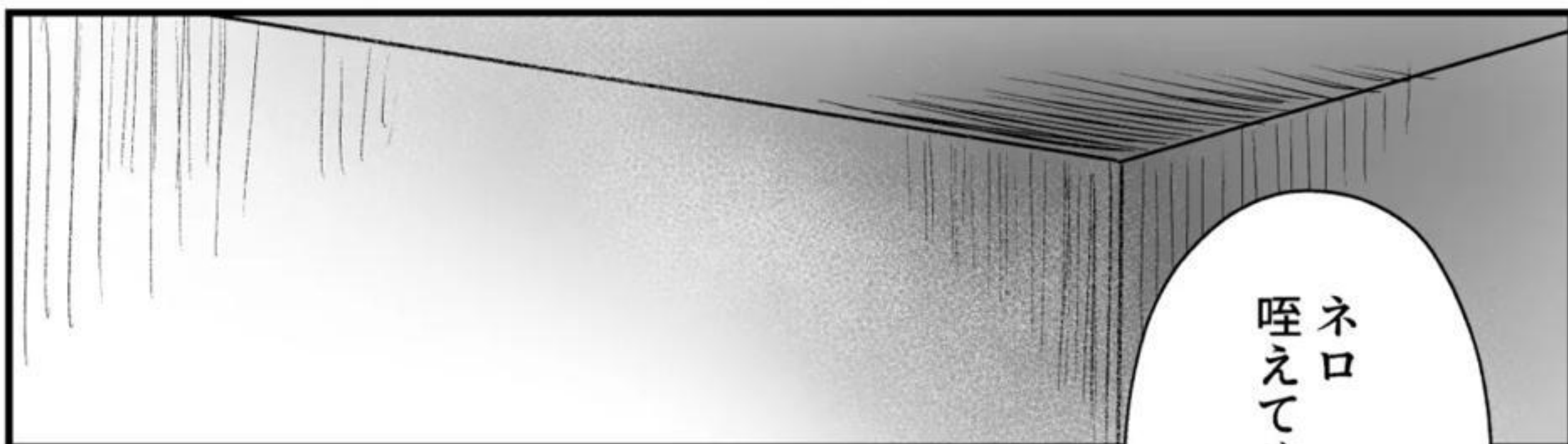


貴方に
神の使徒からの
感謝を

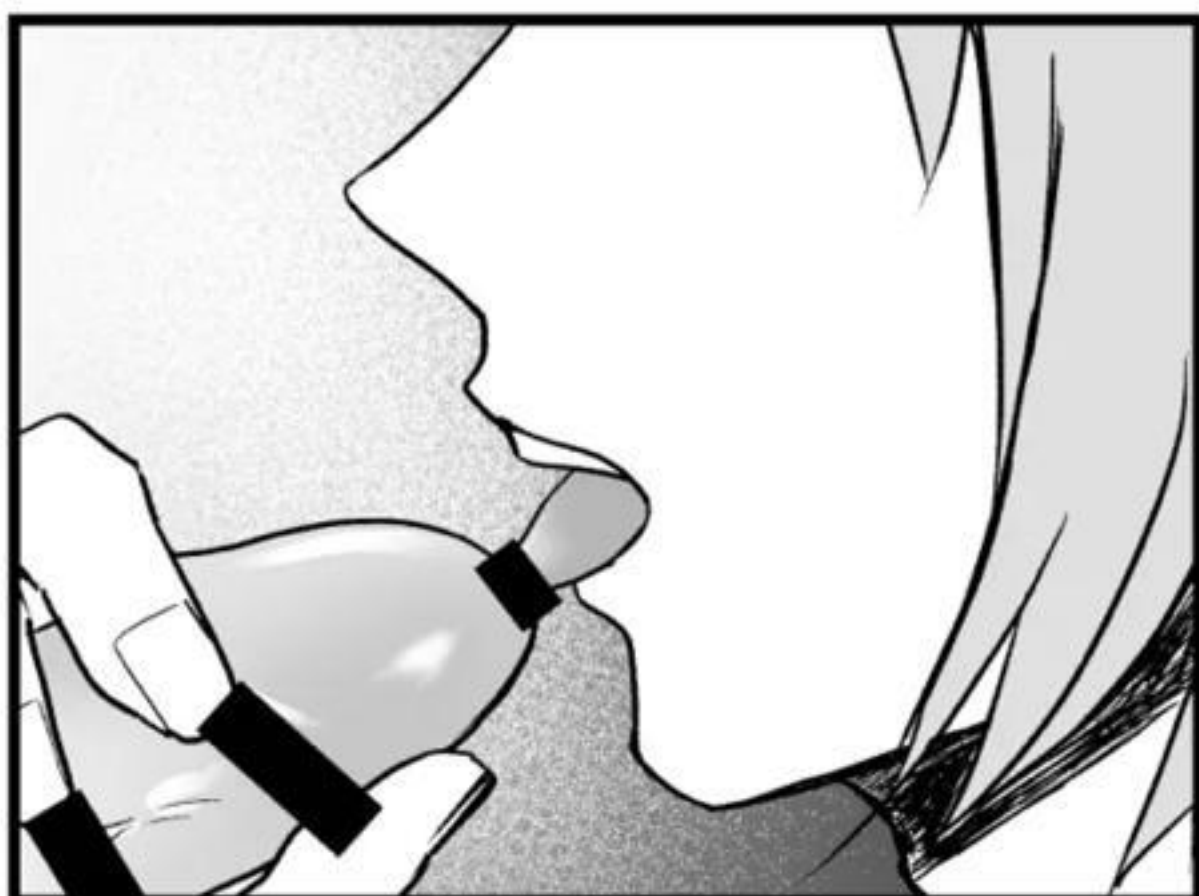


それでは
はじめましょう





ネロ
啜えてください

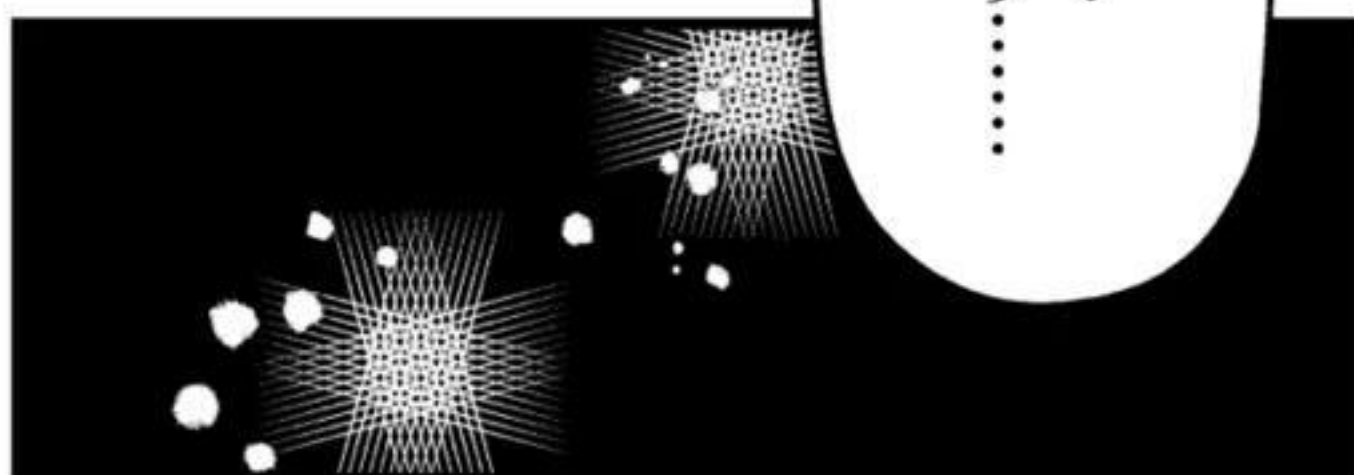


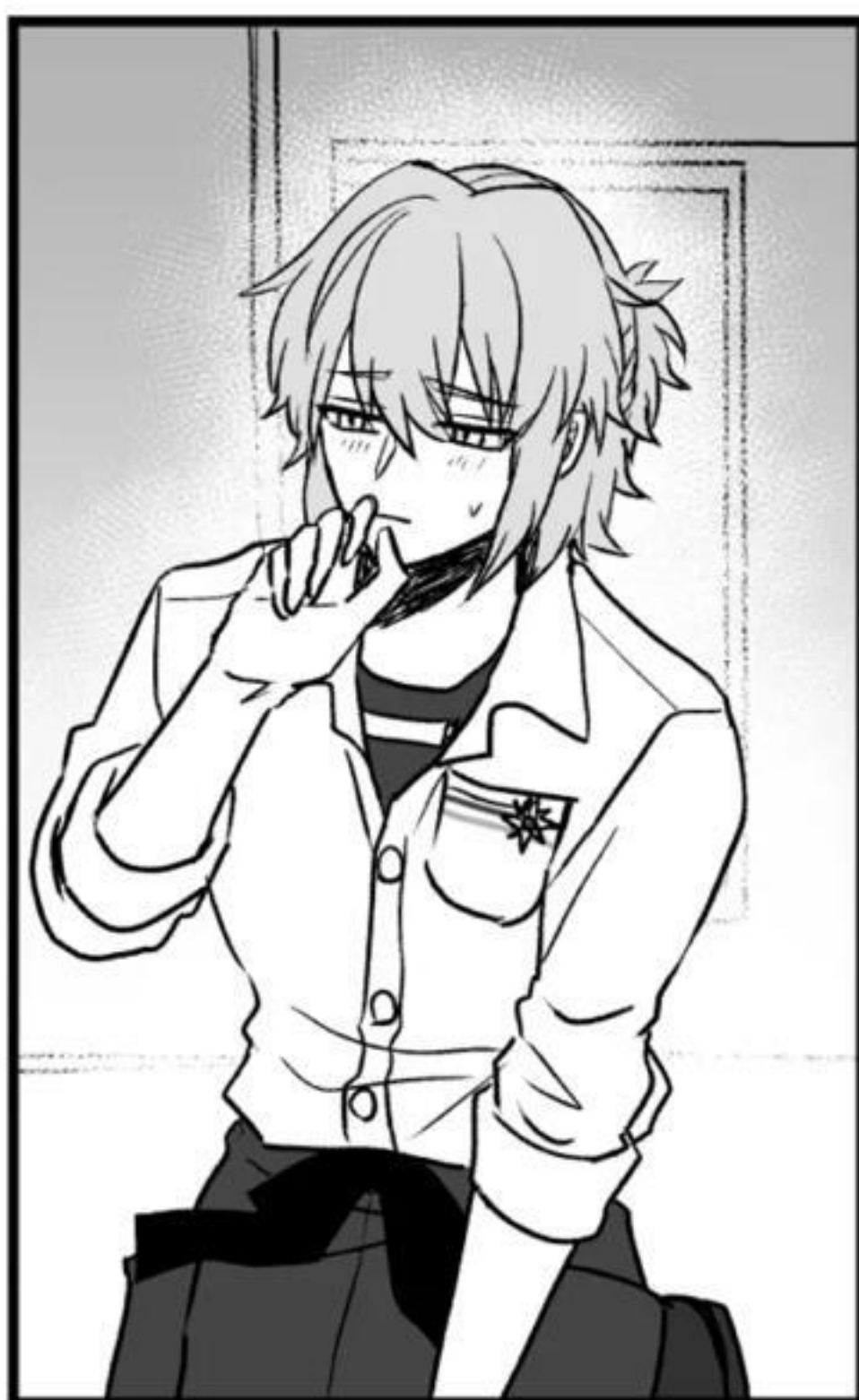
あっ



ネロ
もっと奥まで
啜えて？

ん……











リケはこの後
どうする――

もうこんな時間か
会合に
遅れないように
しないとな

そうだな
急ごうカイン



リケ!?



リケ!
しっかりしろ!





もう少し

傍にいて
くれませんか……？

……

ぽん

そんな顔するな

お前さんの
気が済むまで
傍にいるからさ

分かった







教団にいたころは

司祭様や
善い行いをした者たちには
僕の精液を与えていたんです



神聖なものなので

直接飲まないとい
けないそうですよ



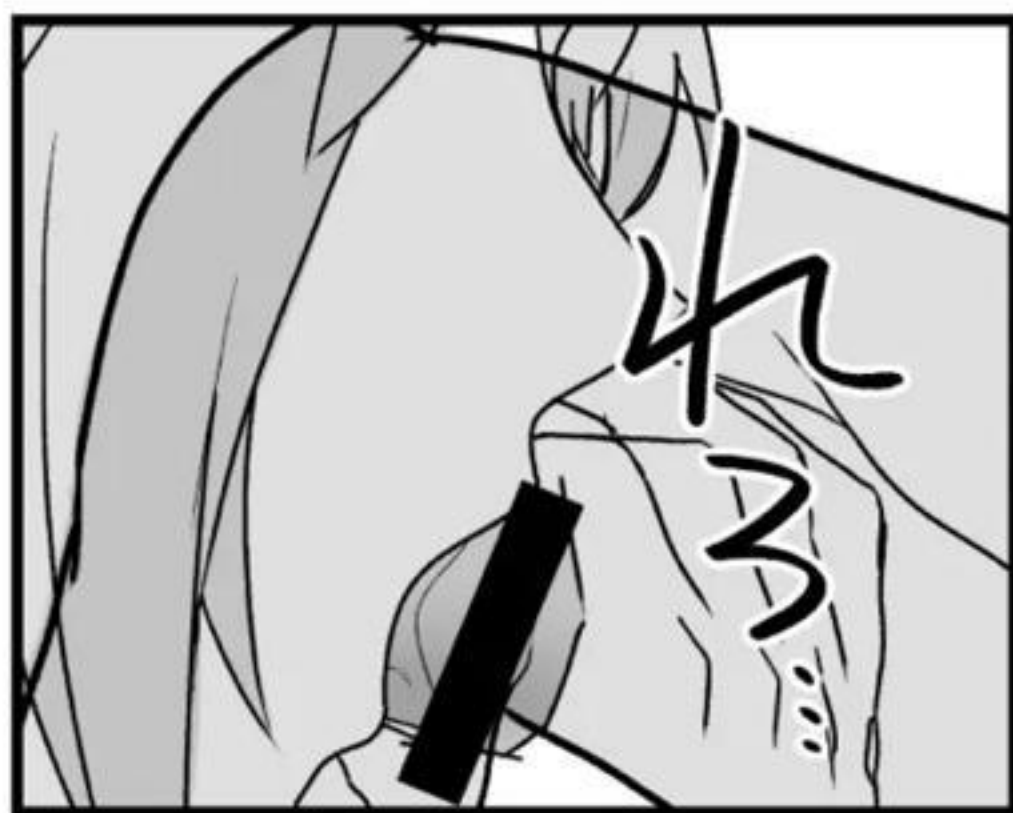
……なんで
とは？

これからネロに
お礼をするので脱ぎました











そのときから

俺らは
秘密の関係になった



はい
先生もどうぞ

ありがとう



……



先生に変な絡み方して
困らせるんじゃないぞ



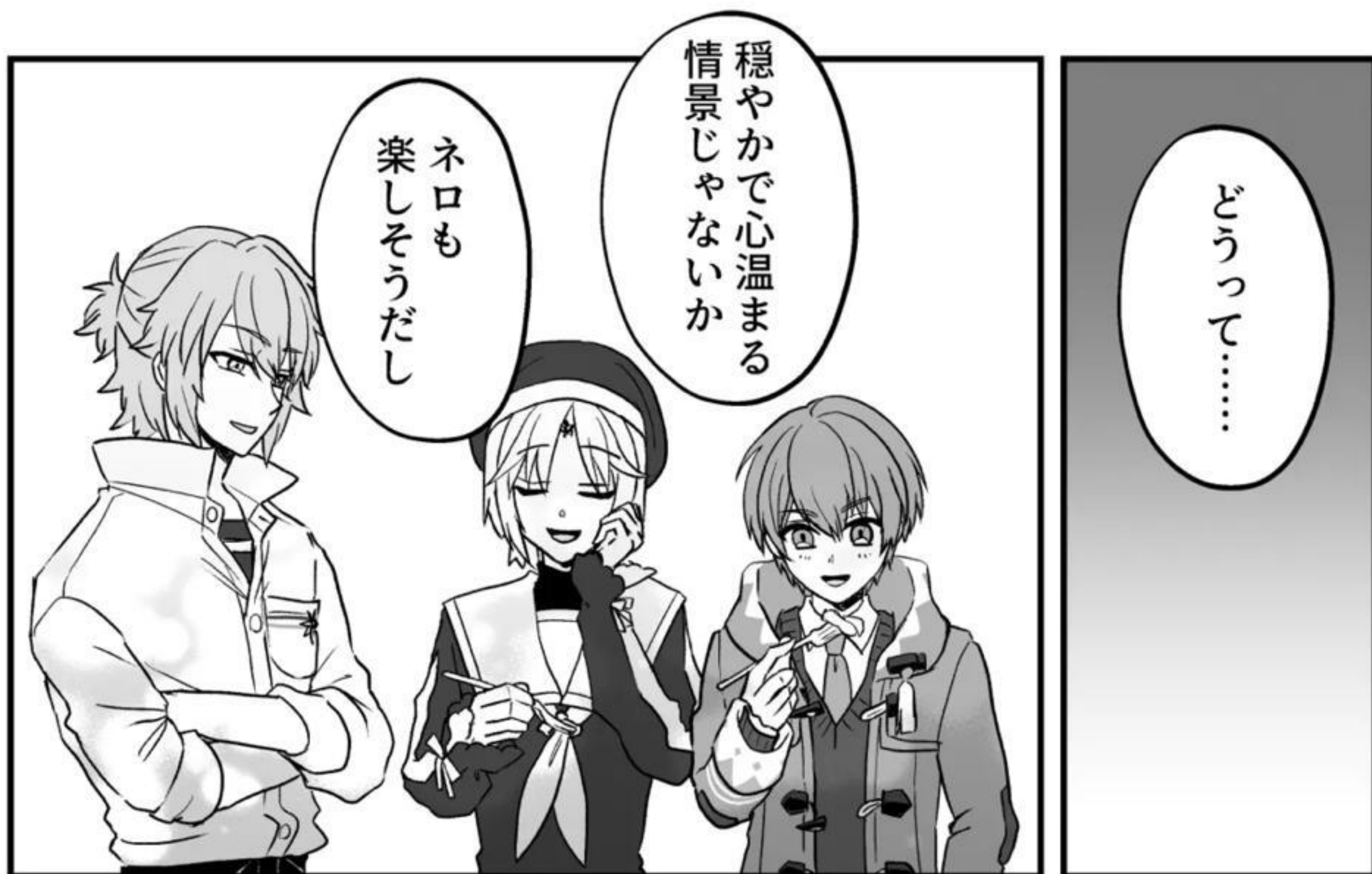
——なあ
呪い屋

……なんだ

(早いかな……?)



お前
あれ見てどう思う





確かに南の
小さいのからは

何も
感じねえよ

だが中央の
小さいのは

そんなんじや
ねえだろ

そうだと
しても

あのくらいの
年頃の子なんだ

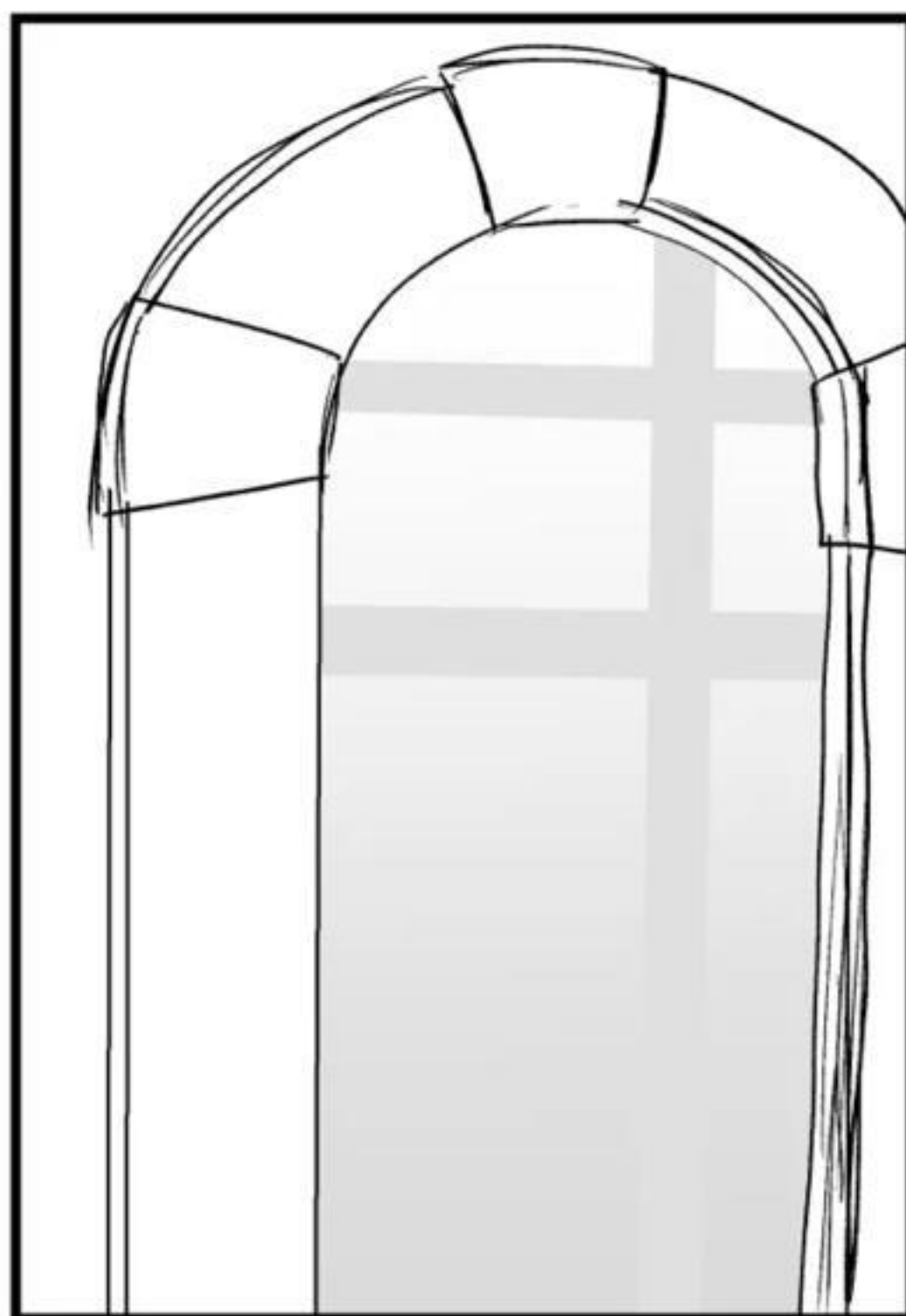
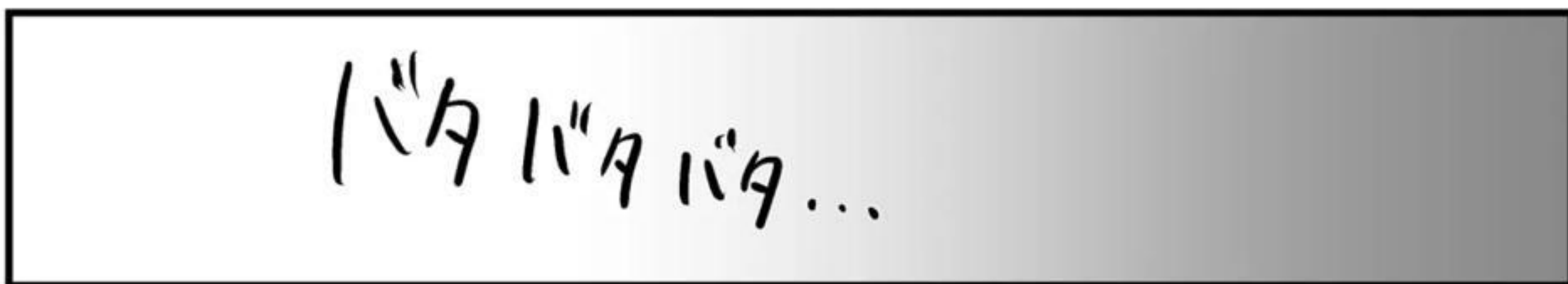
恋はしても
おかしくない
んじゃないか

恋

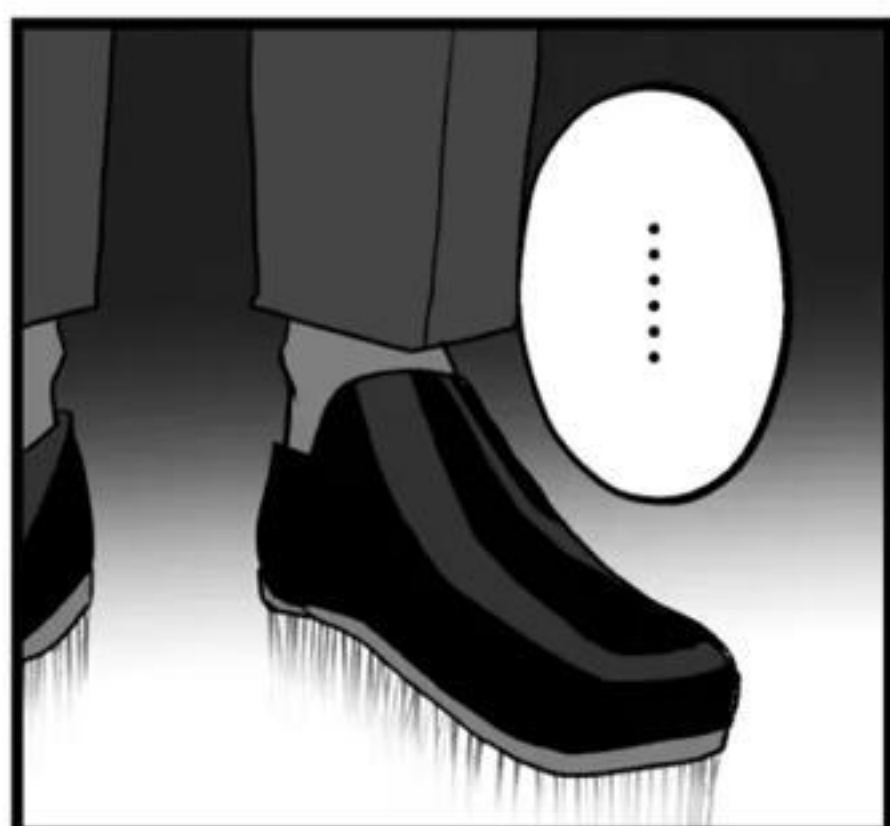
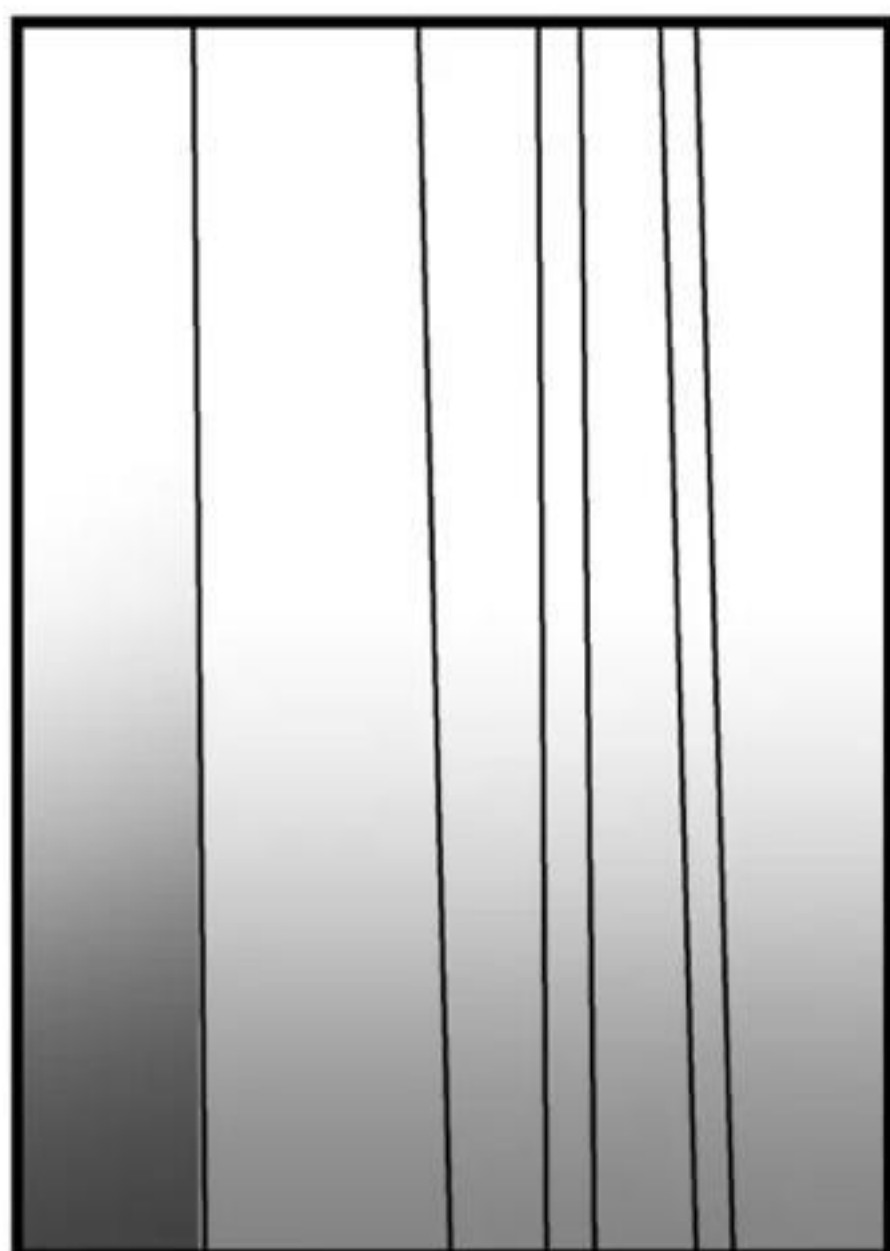
ねえ……

そんな可愛らしいもんじや
なさそうだけどな









—ネロ
おやすみなさい

ああ
おやすみ

...

よお
東の飯屋

ブラッド……

お前
いつからだ

は？



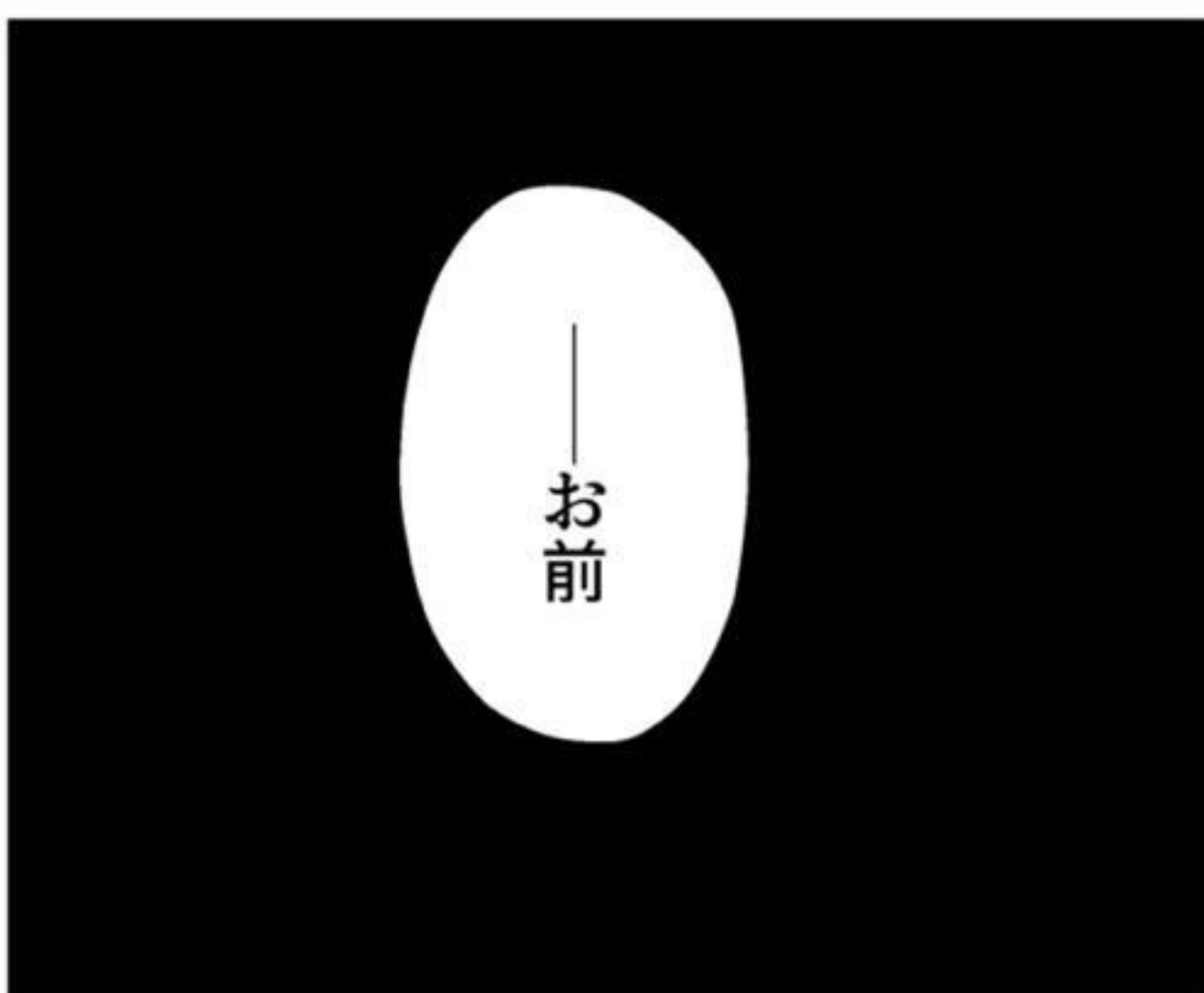
お前から
中央の小さいのの
魔力を感じるんだよ



：リケのやつが
文字の勉強
見てもらいたい
って言うってさ



適当なこと
言ってるじゃねえ



——
お前



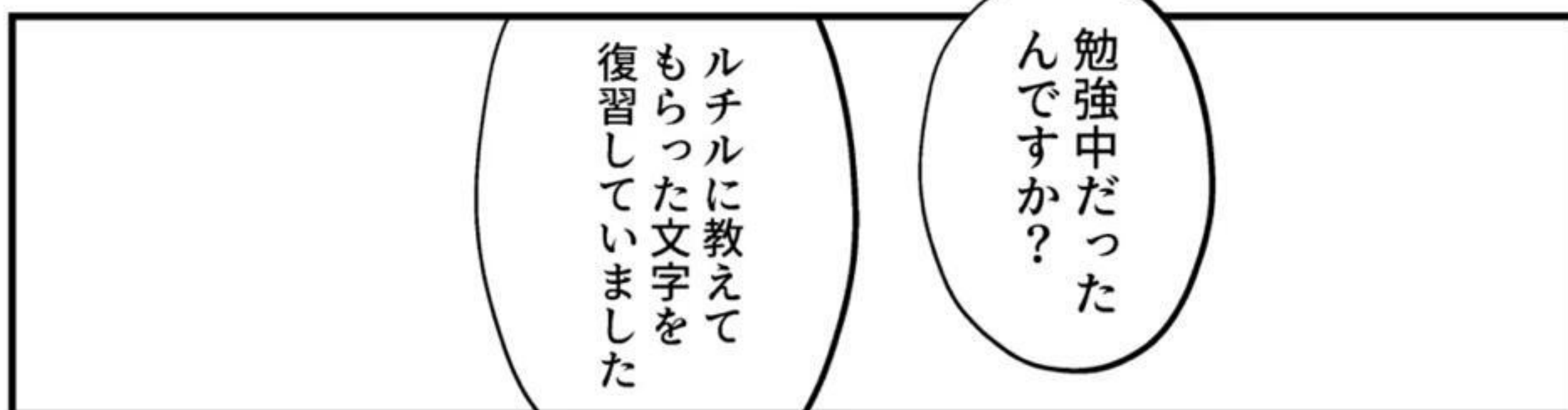


賢者様

ここに
いたんですね



リケ



ルチルに教えて
もらった文字を
復習していました

勉強中だった
んですか？

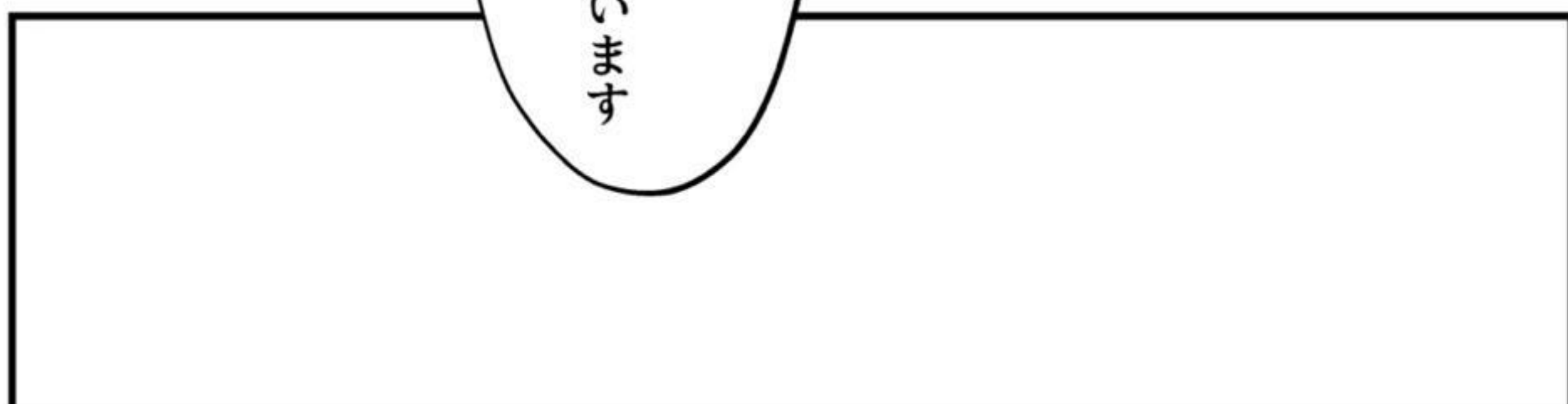


……？
分かりました



賢者様は
僕に何か御用
でしょうか？

そうなんです
勉強が終わったら
俺の部屋に
来てもらえますか？



一緒に
食べましょう

やった！
ありがとう
ございます

——
リケは

今でも教団に
戻りたいと
思っていますか？



はい
いずれは……

でも

賢者様の
魔法使いに
選ばれて

魔法舎に
来て

外の世界を
見ていたら

まだ戻りたくないな
という気持ち
が強くなって
しまいました



僕の居るべき
ところは

教団のはず
なのに



…居場所は

いくつあっても
いいんじゃない
でしょうか







ネロ！
いらっしやい



どうした
今日はえらく
機嫌がいいんだな



お昼に賢者様と
たくさんお話
出来たんです

へえ……
それは良かったな





性交渉は
異性間で
行われるもの
なのでは？

司祭様も
僕も
男ですよ

あゝ……

男同士でも
することが
あって……

どのような？

女の穴の
替わりに

こう尻の穴に
入れるんだよ

って別に

されてないなら
いいんだ
変なこと
言っちゃまったな

ふふ



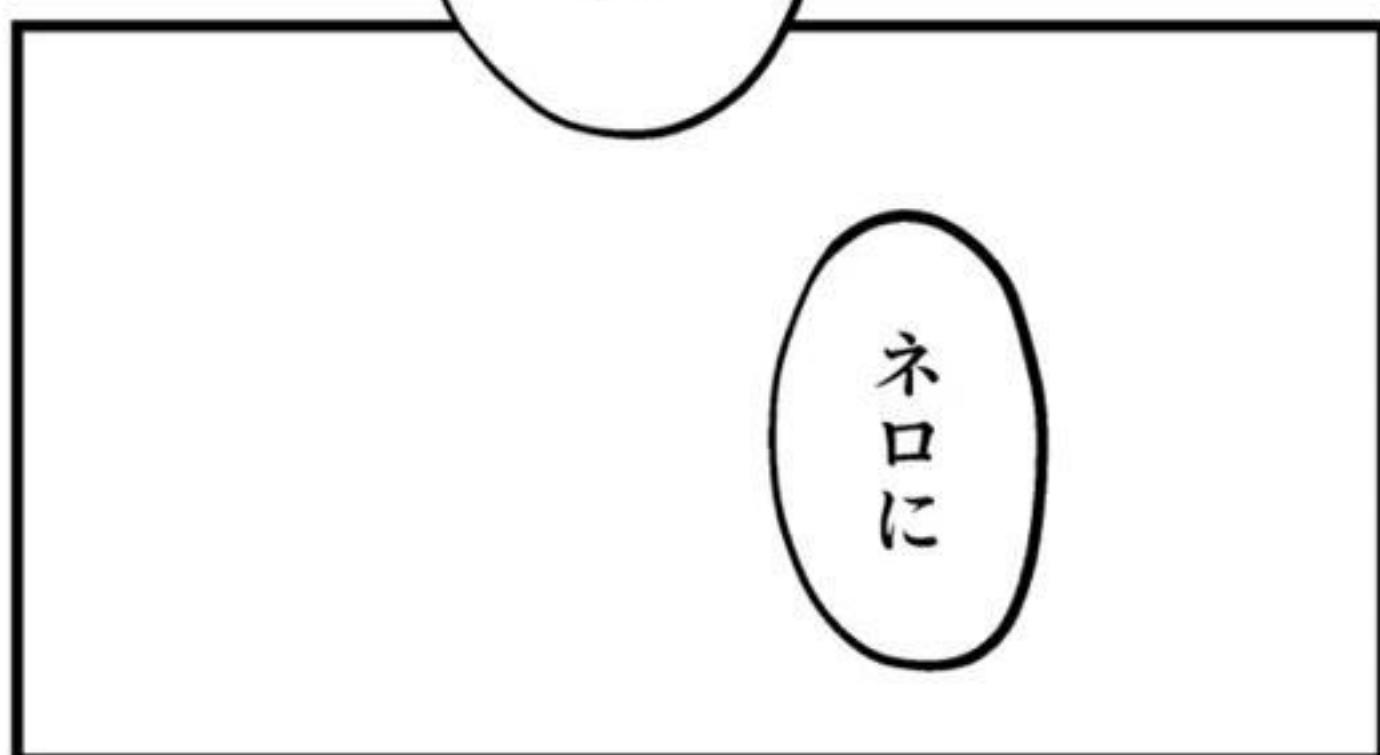


……そっか



ねえネロ







賢者様ー!!

賢者様
こちらでしたか



ドラモンド
そのように慌てて
どうしたのだ

……賢者様と
賢者の魔法使いに

ヴィンセント
殿下より
依頼が
入りました



終末教団への潜入調査を
お願いします



……という
依頼内容になります





終末教団には
崩壊星の石が
敷き詰められて
いるので

若い魔法使いは
力が制御
出来なくなるのではと
スノウとホワイトが…

なるほど



…その終末教団
ってのは
リケがいたところ
なんじゃないのか

—はい

僕も行きますよ

リケ！
紋章が……

大丈夫じゃ

我とホワイトで
一時的に
隠しただけじゃ

リケには
先にお話させて
もらいました

まずはリケから
教団に行って
もらいます





リケ
今いいか



ネロ？





ばればれか

……お前さん
無理してないか



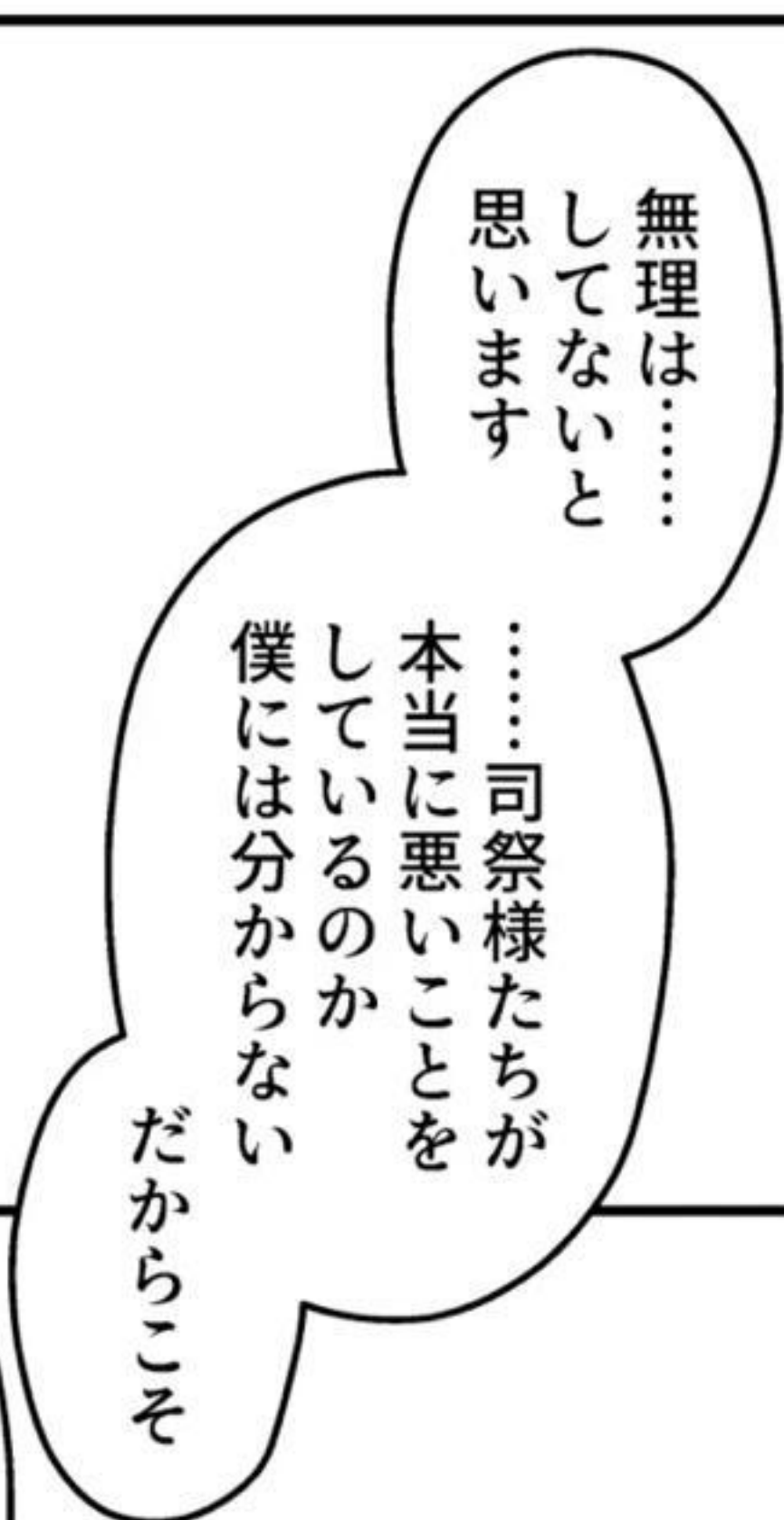
どうも

心配
してくれ
た
んですね



……そっか

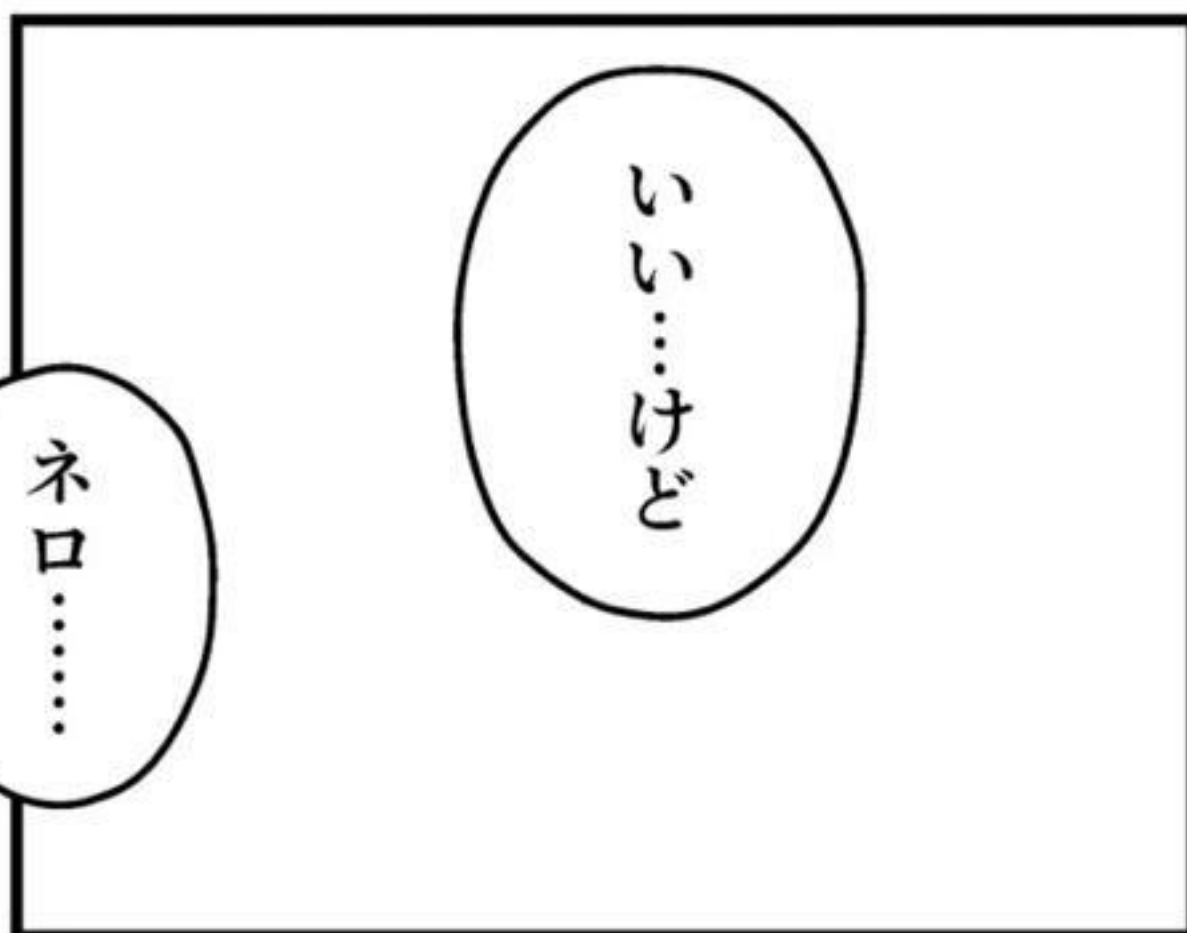
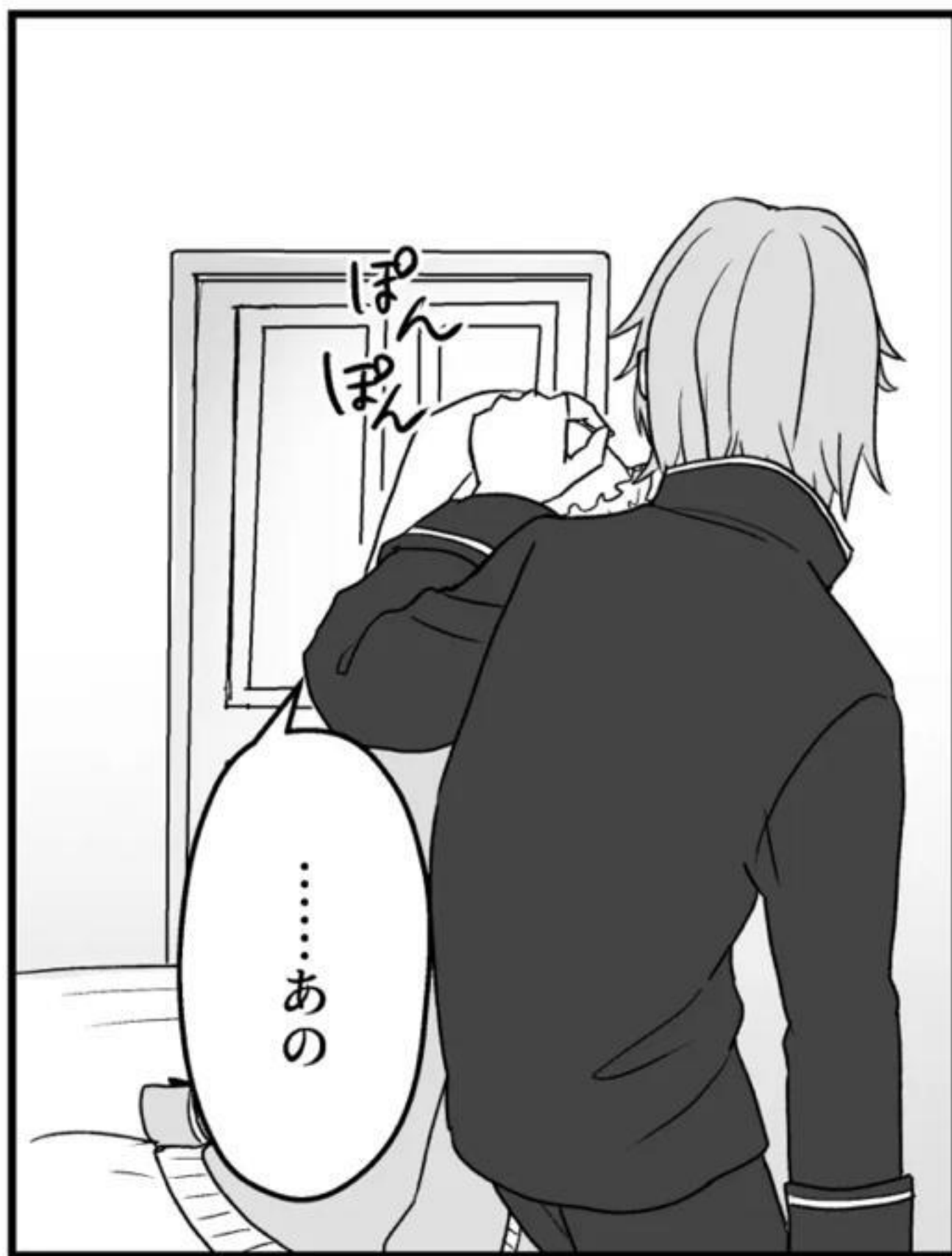
自分の目で
確かめないと
思いました



無理は……
してないと
思います

……司祭様たちが
本当に悪いことを
しているのか
僕には分からない

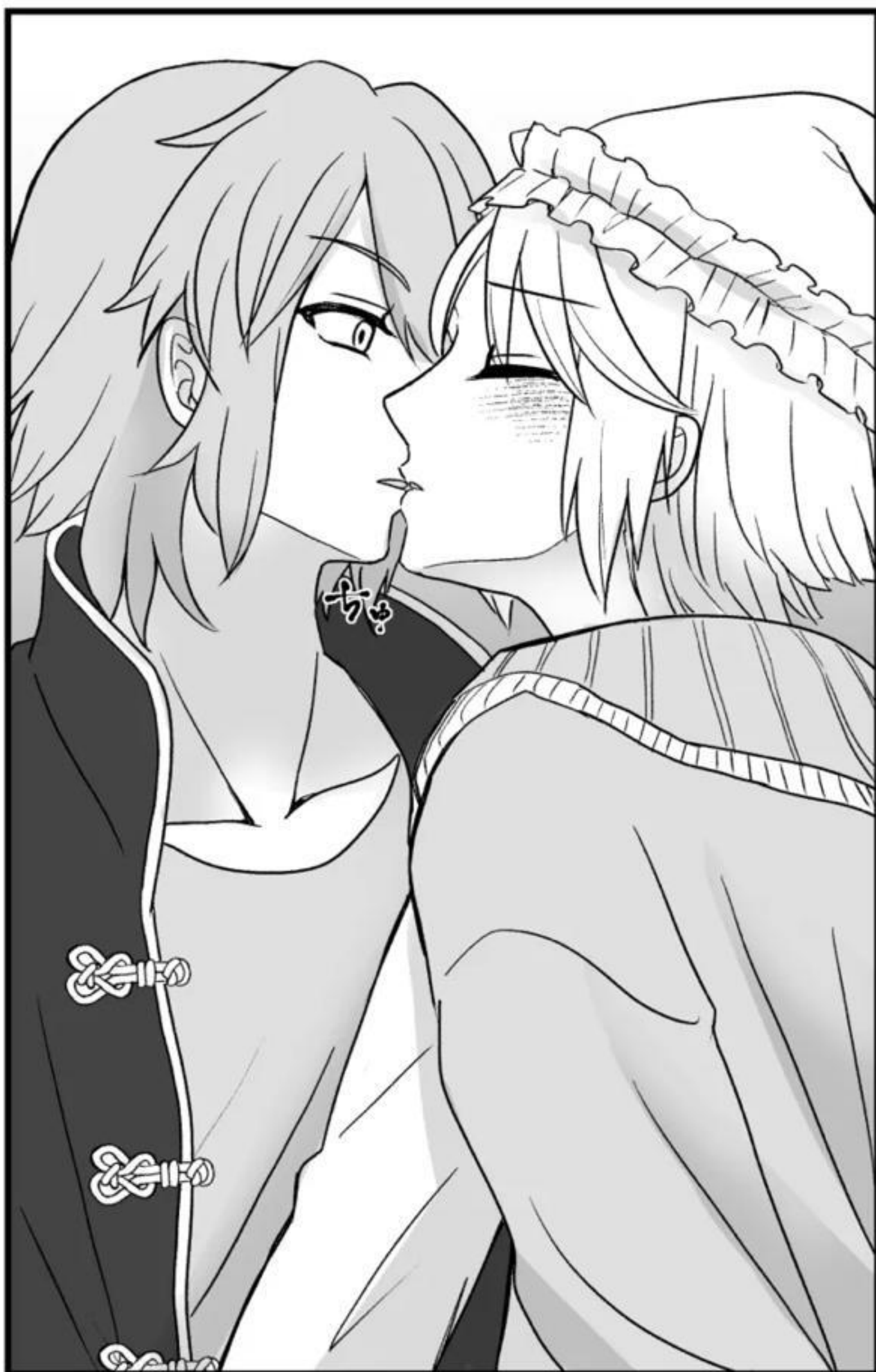
だからこそ



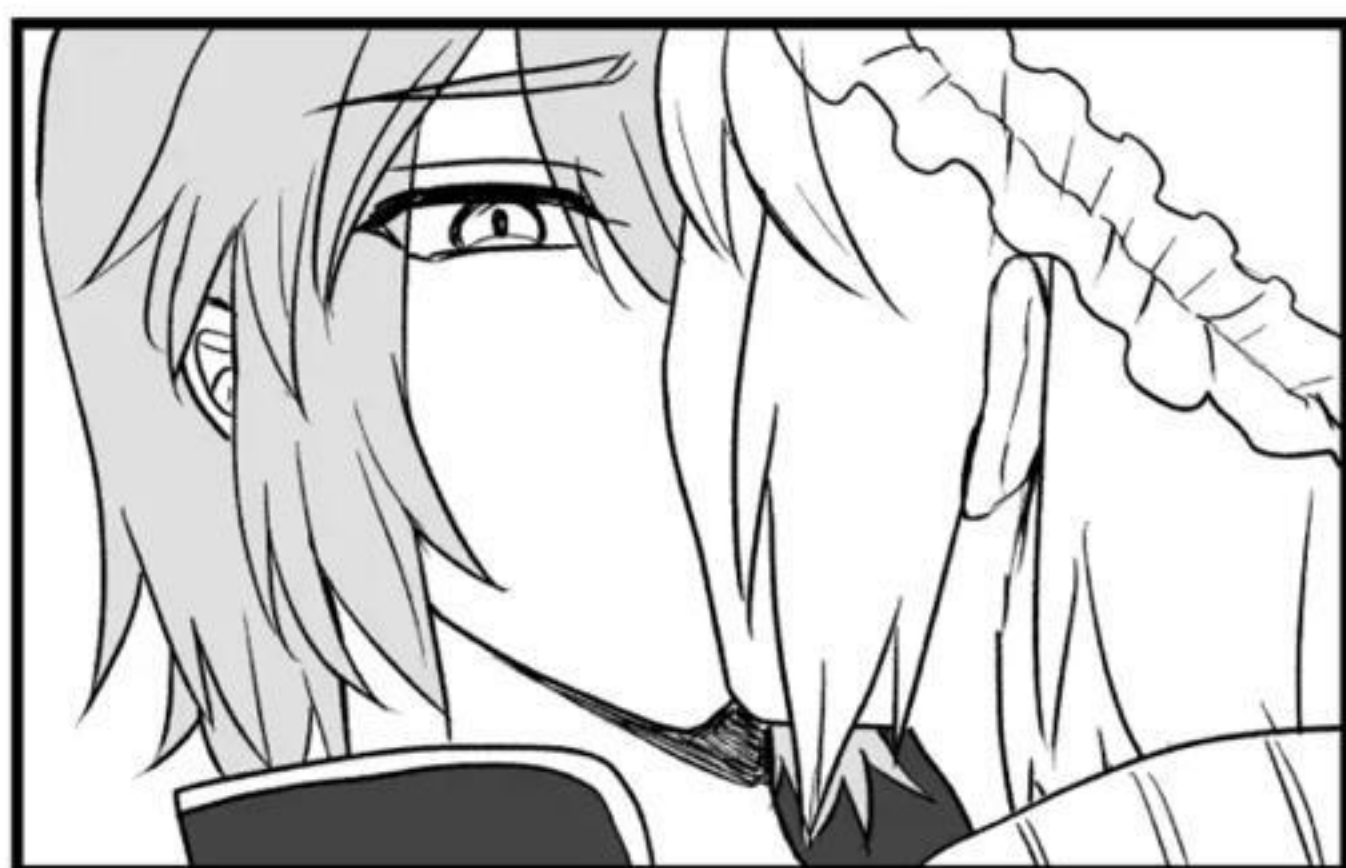


……この前

ネロと
こうしてから
ずっと心が
あったかくて……



ネロ……





本当だ
大きくなって
いますね

ちよっ

ネロは
苦しくないの
ですか

まあキツイ……な

でしたら……

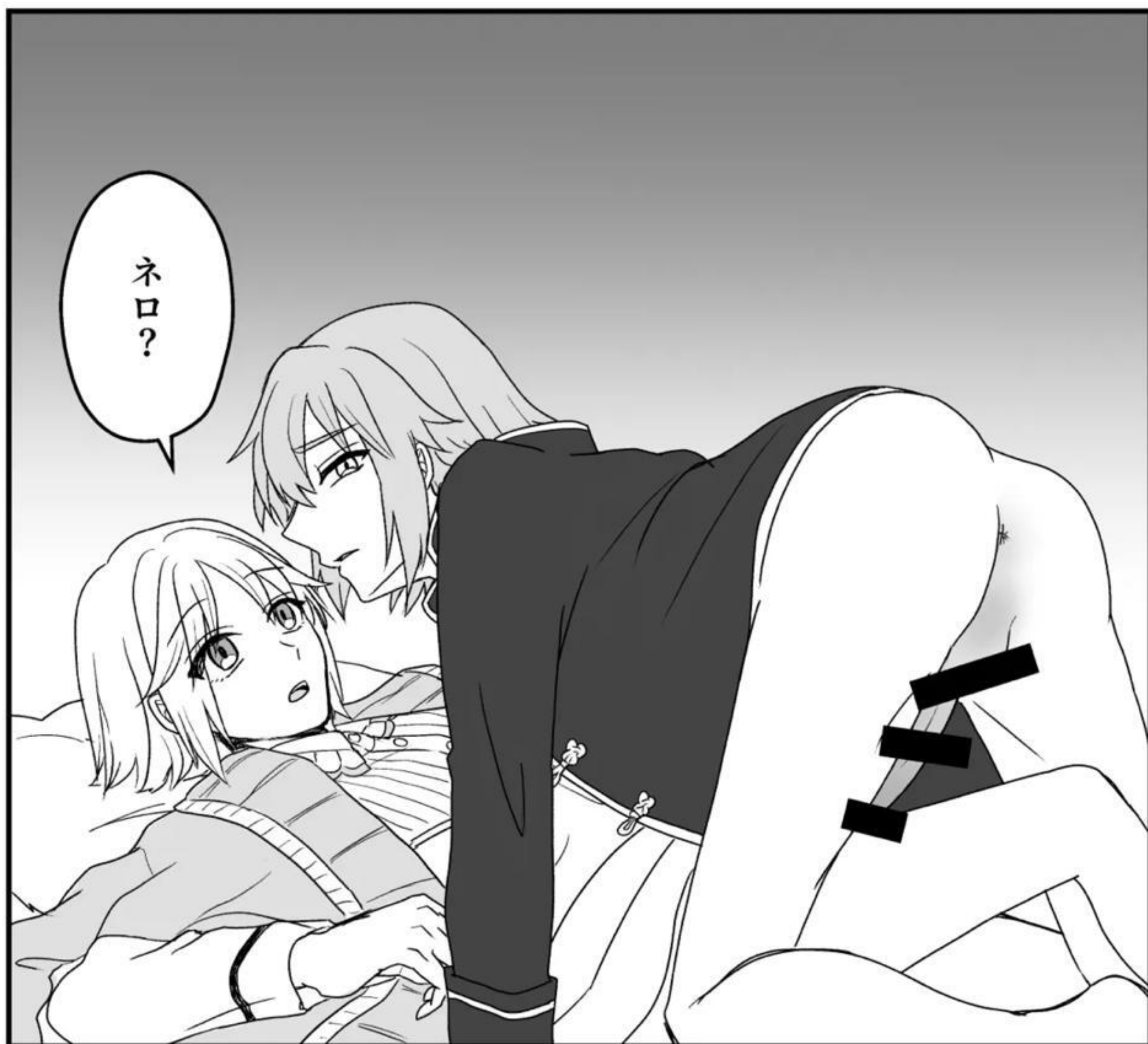
ま

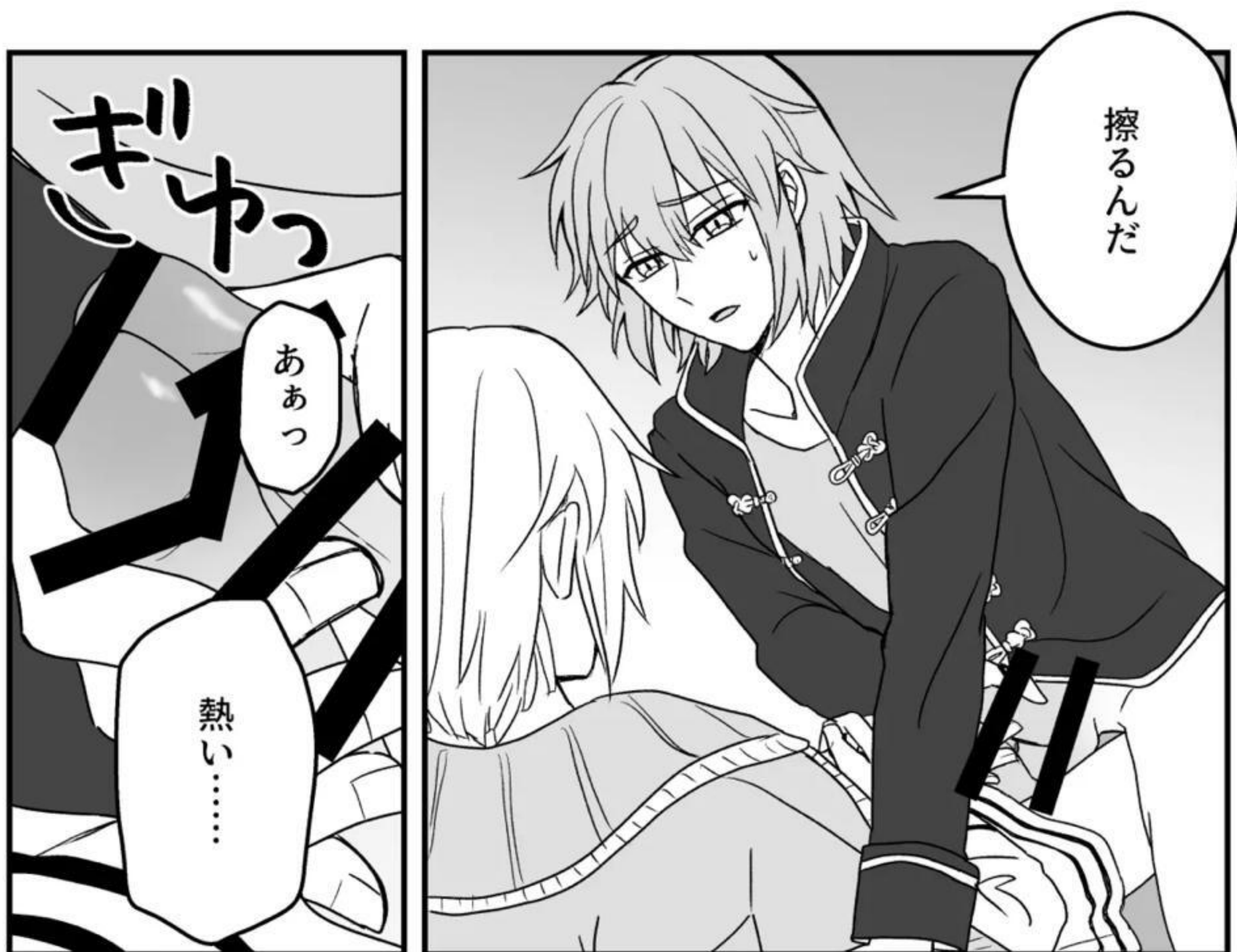
待った

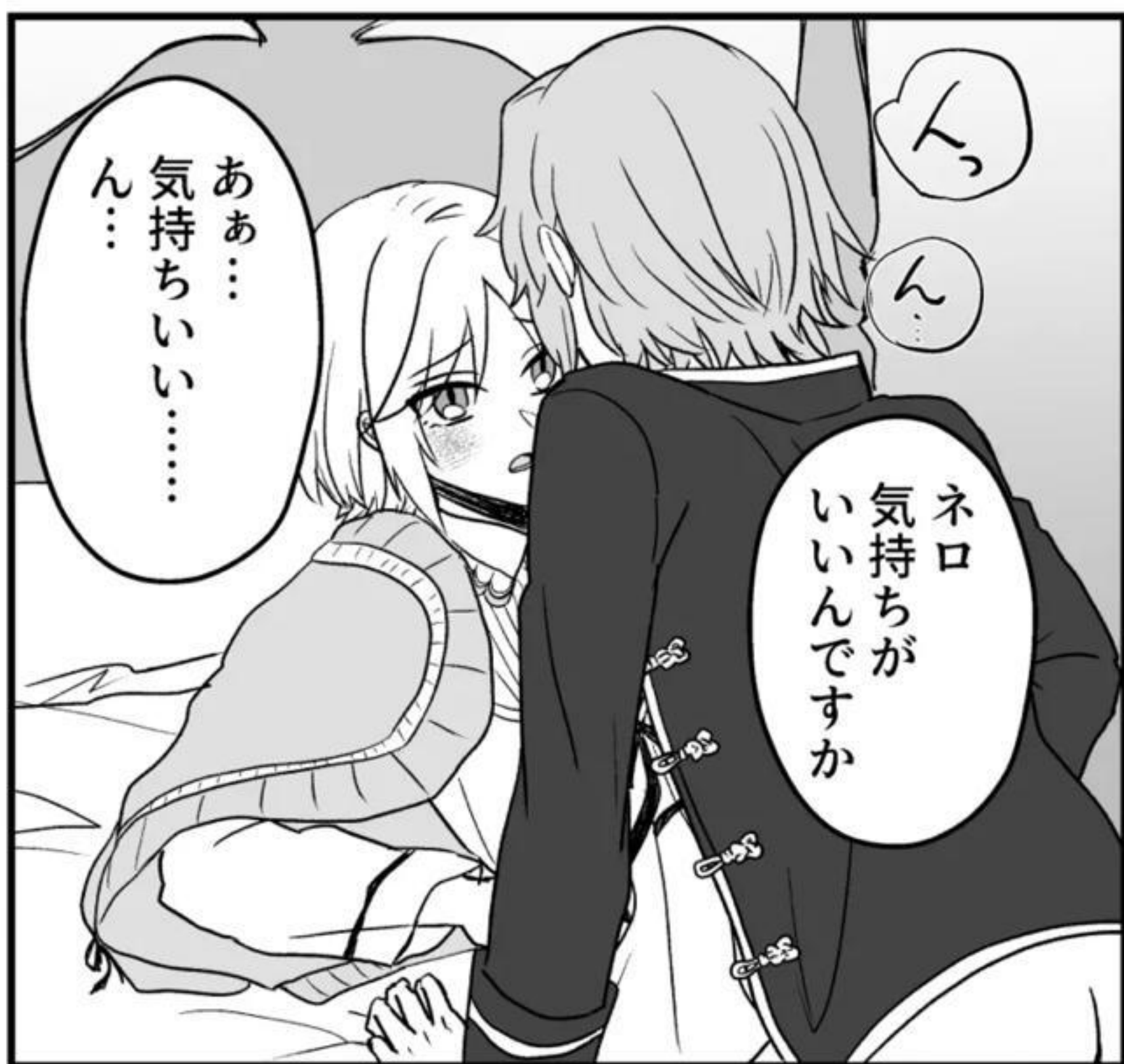
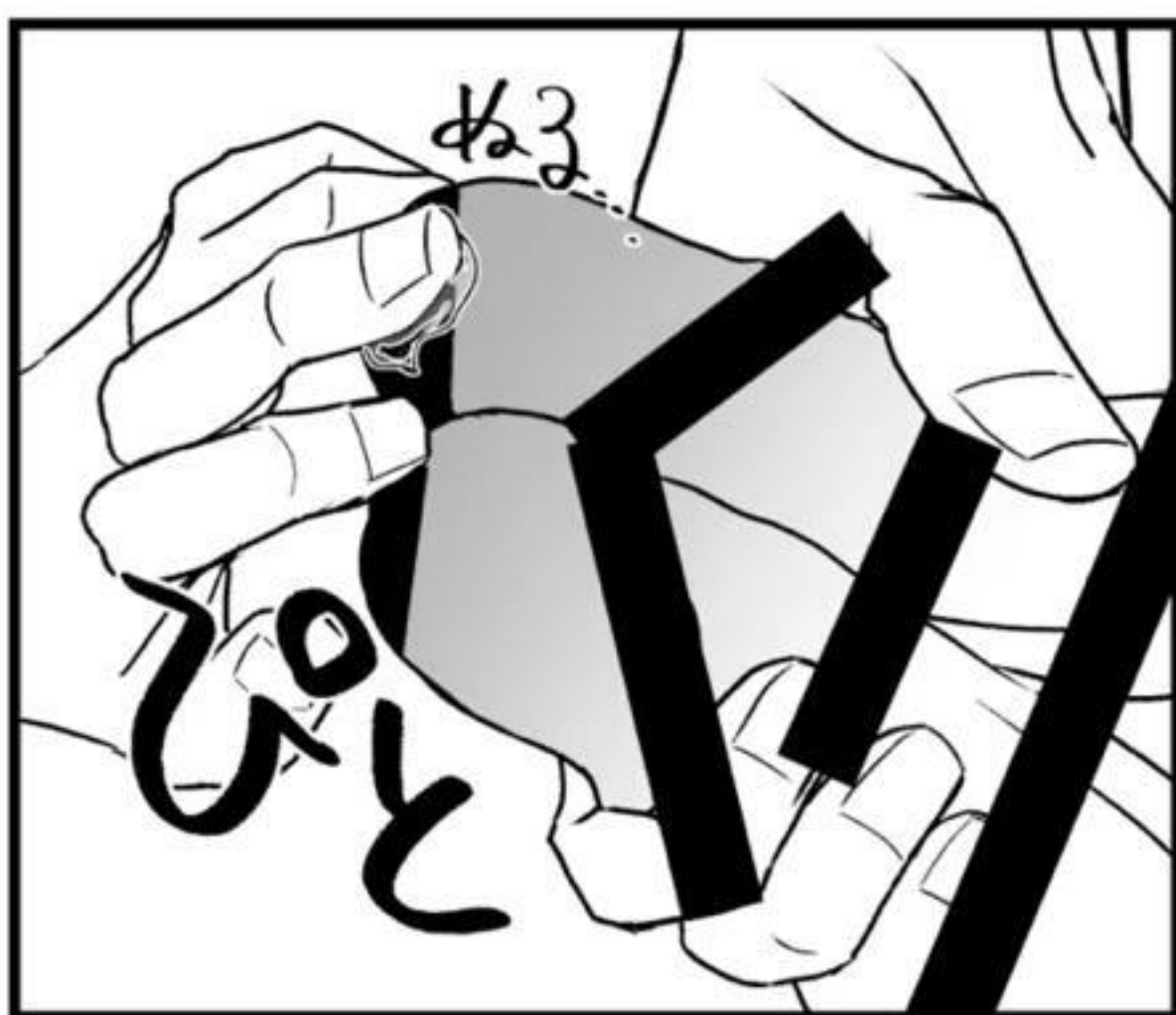
俺には
そんなこと
しなくていい

でもネロが
苦しいのも
嫌です

——
じゃあ……



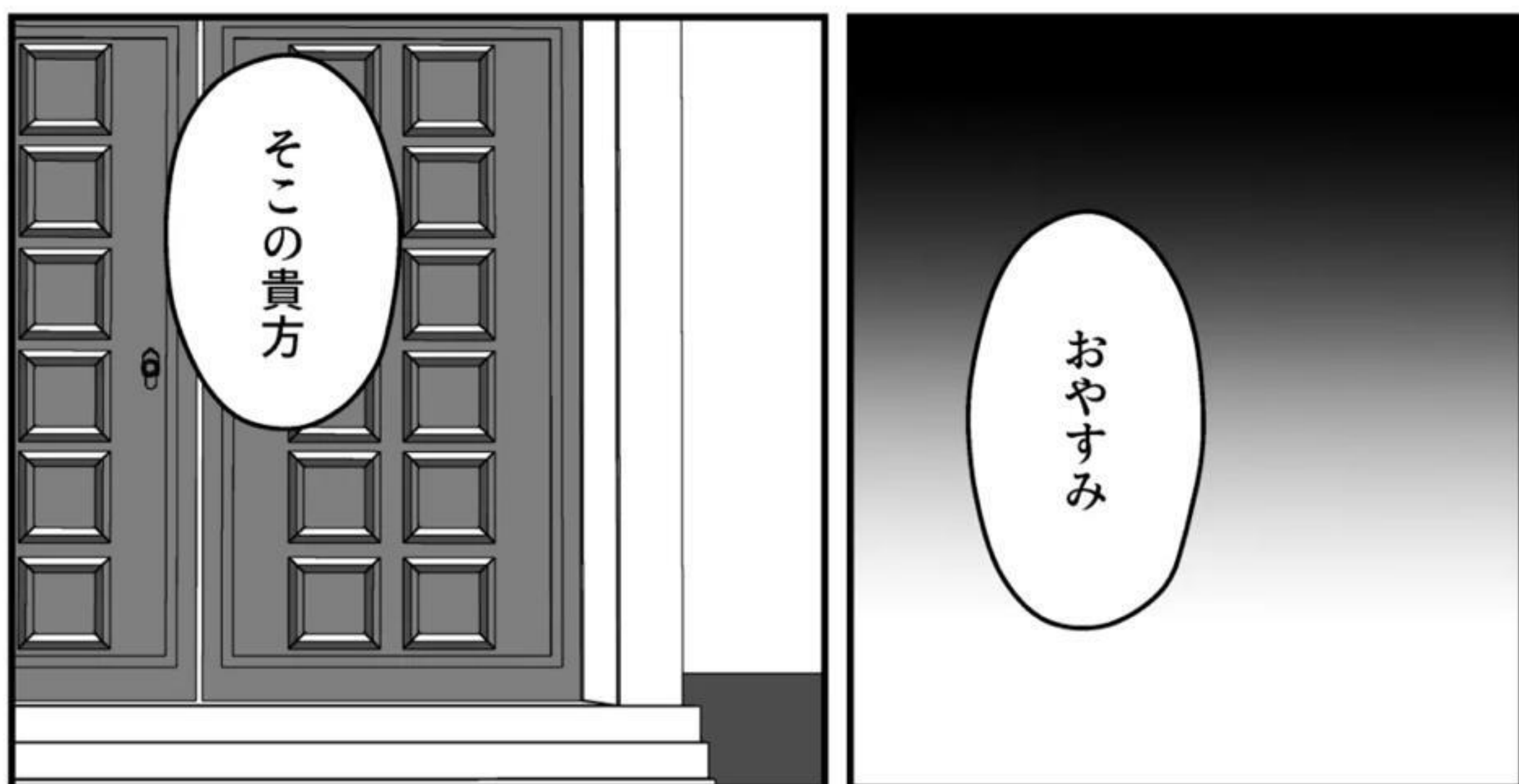


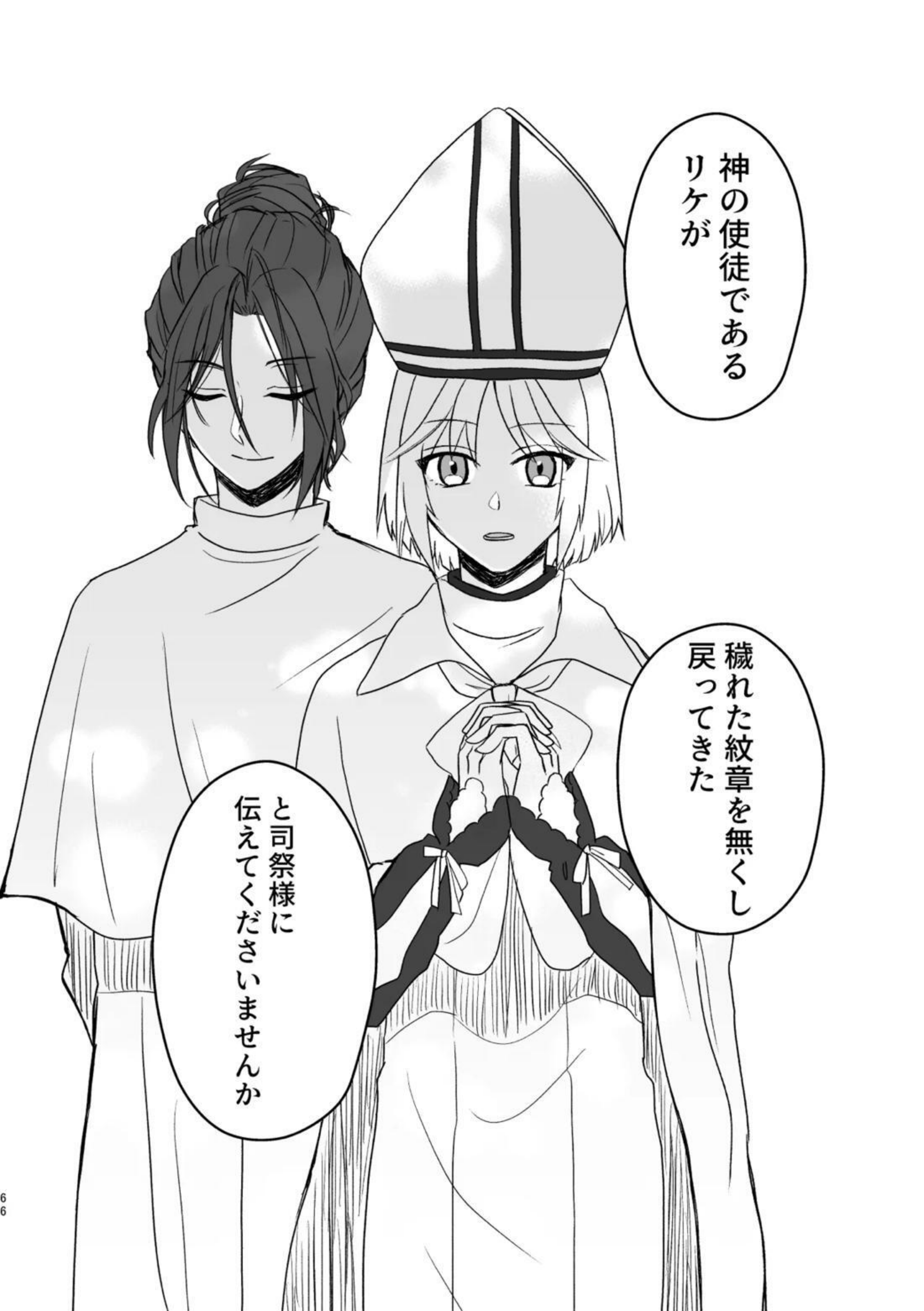




じゃあ

じゃあ

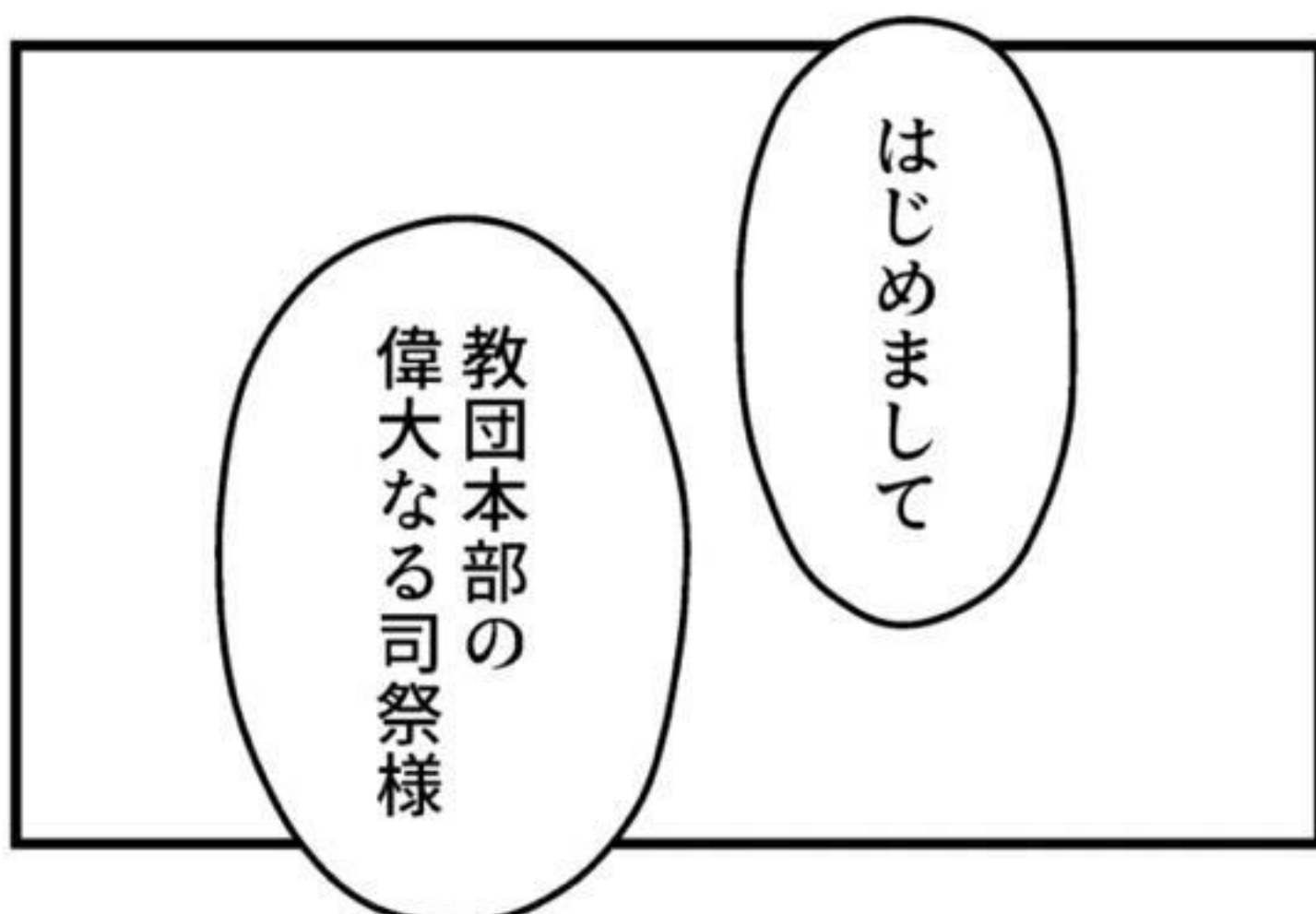
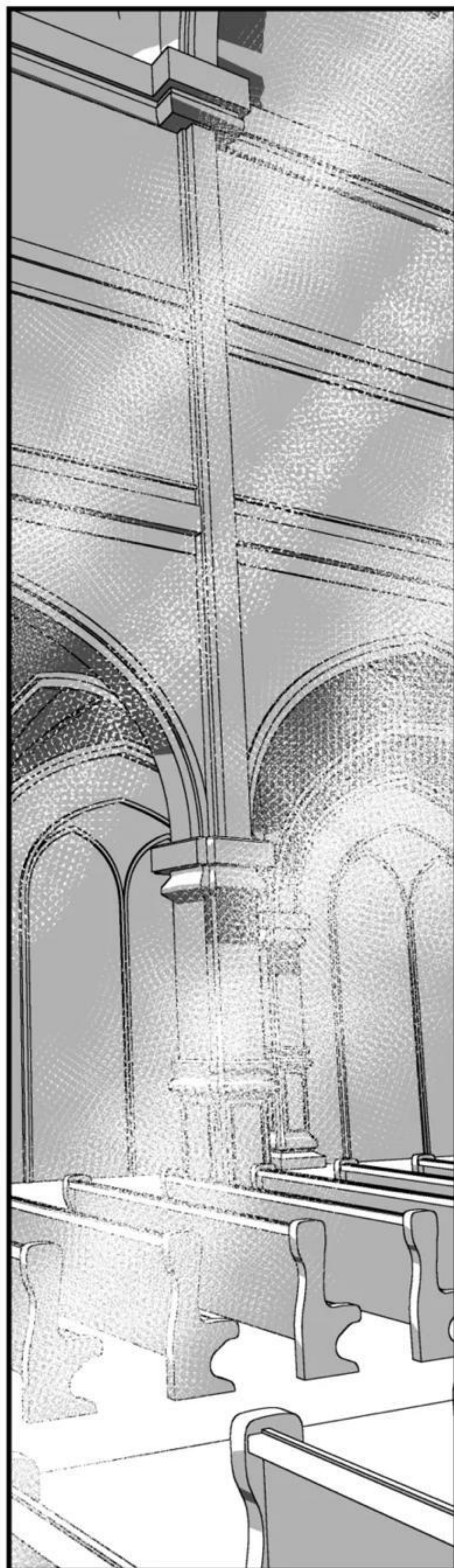


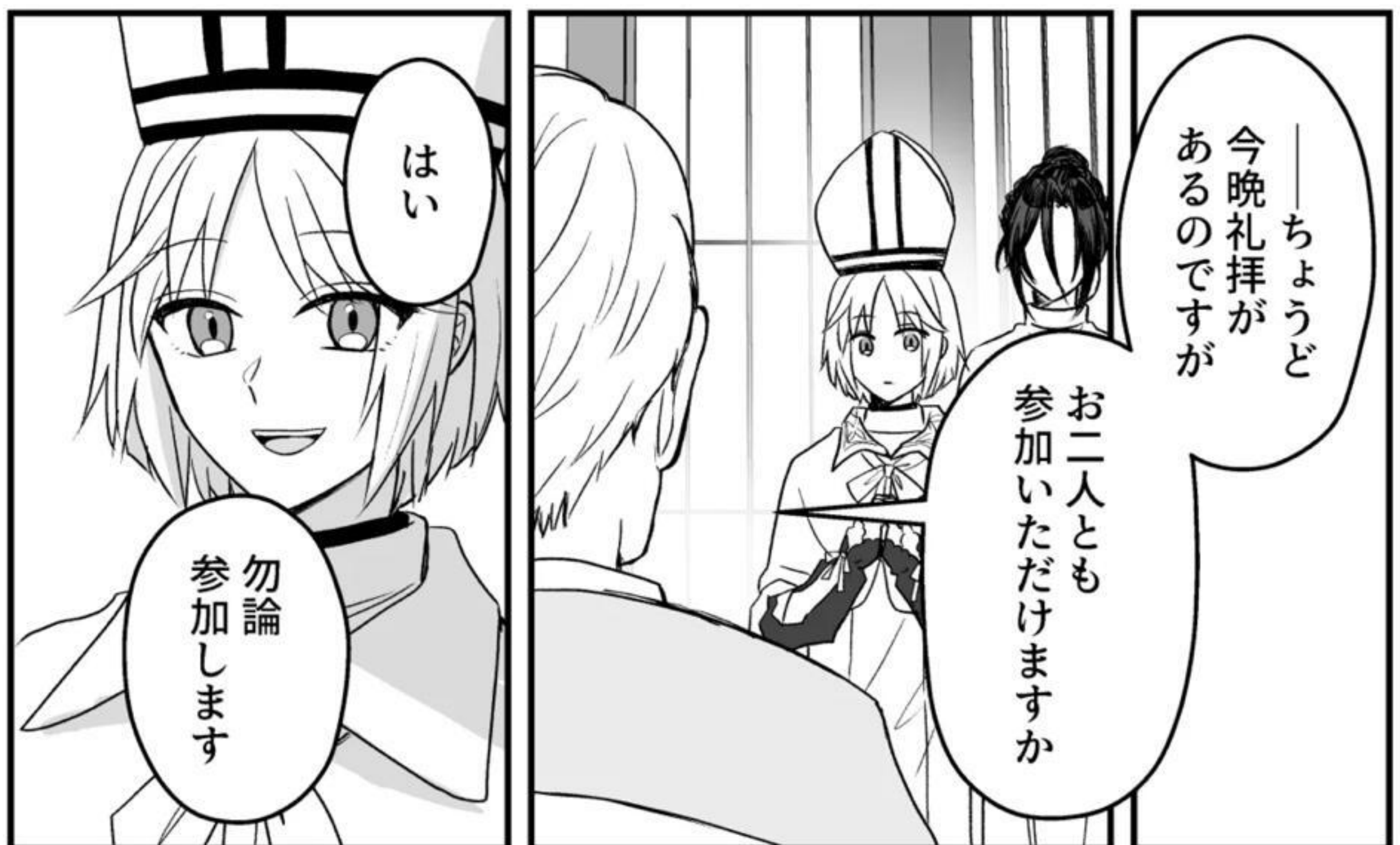


神の使徒である
リケが

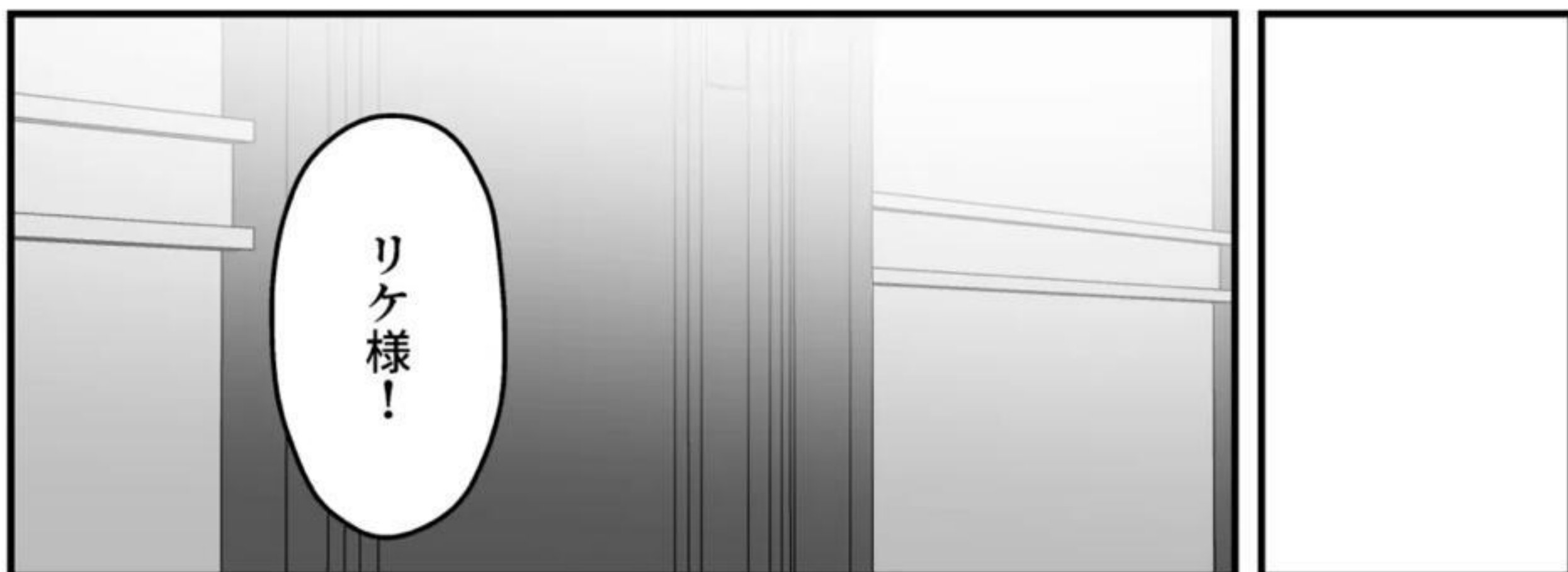
穢れた紋章を無くし
戻ってきた

と司祭様に
伝えてくださいますか











……ぎゅっ

気持ち悪いと感じて
しまったんだろう

はっはっは

ロデリゴ殿は
なんて話が分かる方
なんだ

ありがとう
ございます

このまま
本部に
残りませんか？

考えて
おきますね

貴方なら
歓迎です

ふふ



司祭様

おお
時間だったか

こちらは…

はじめまして
ここの助祭を
務めております

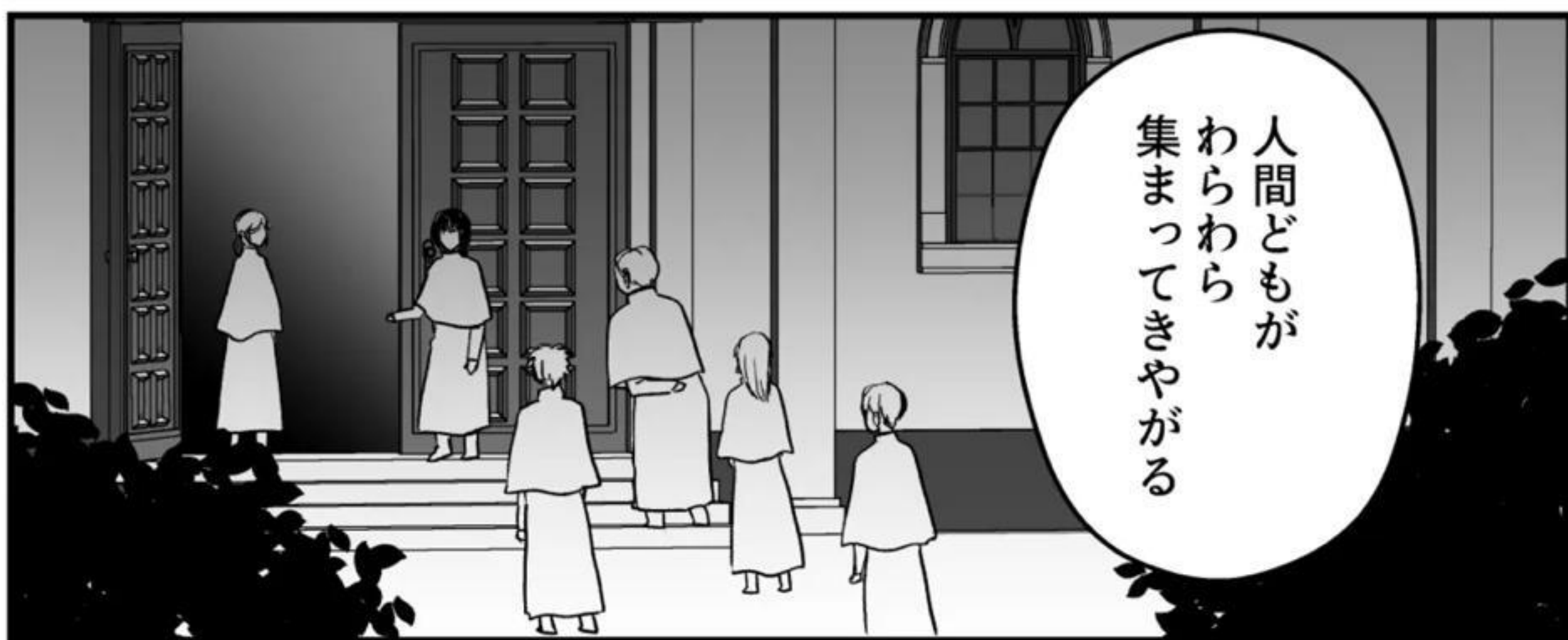
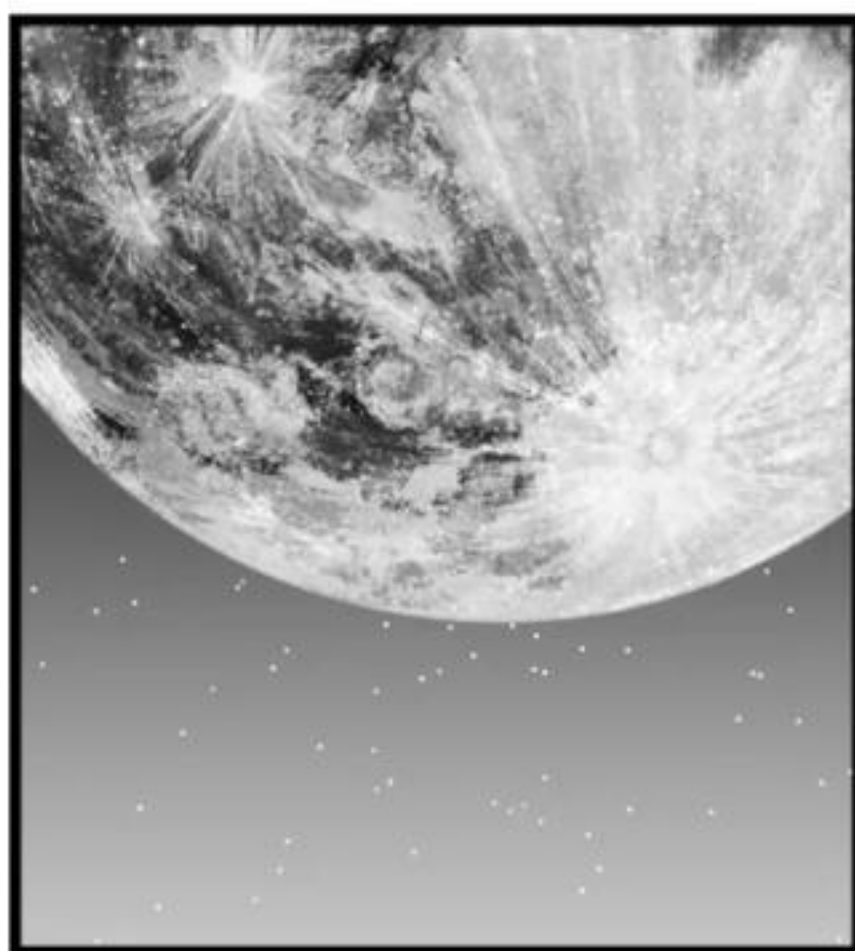
司祭様
今日の礼拝のことで
打ち合わせを
いたしましょう

ロ德里ゴ殿
礼拝の時間まで
自由に過ごして
ください

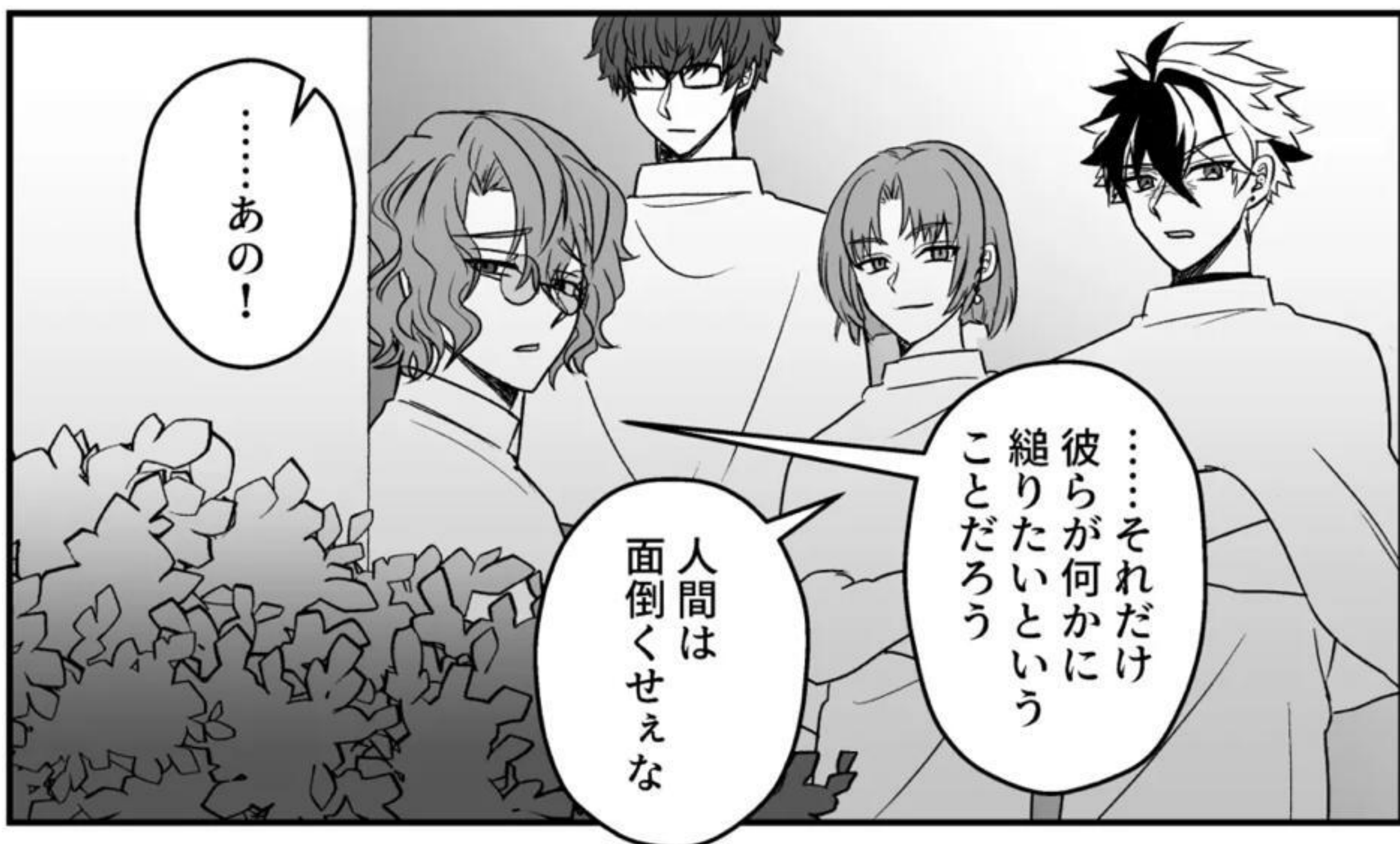
ありがとう
ございます







人間どもが
わらわら
集まってきやがる



……あの！

人間は
面倒くせえな

……それだけ
彼らが何かに
縋りたいという
ことだろう

どうされましたか
賢者様

えっと

礼拝に行く人たちの
様子を見て
思ったんですが

あまりにも
静かだと思いませんか

リケは使徒様と
呼ばれて
いたんですね

特別な人が
戻ってきたなら
もっと騒ぎに
なるかもと
思っています

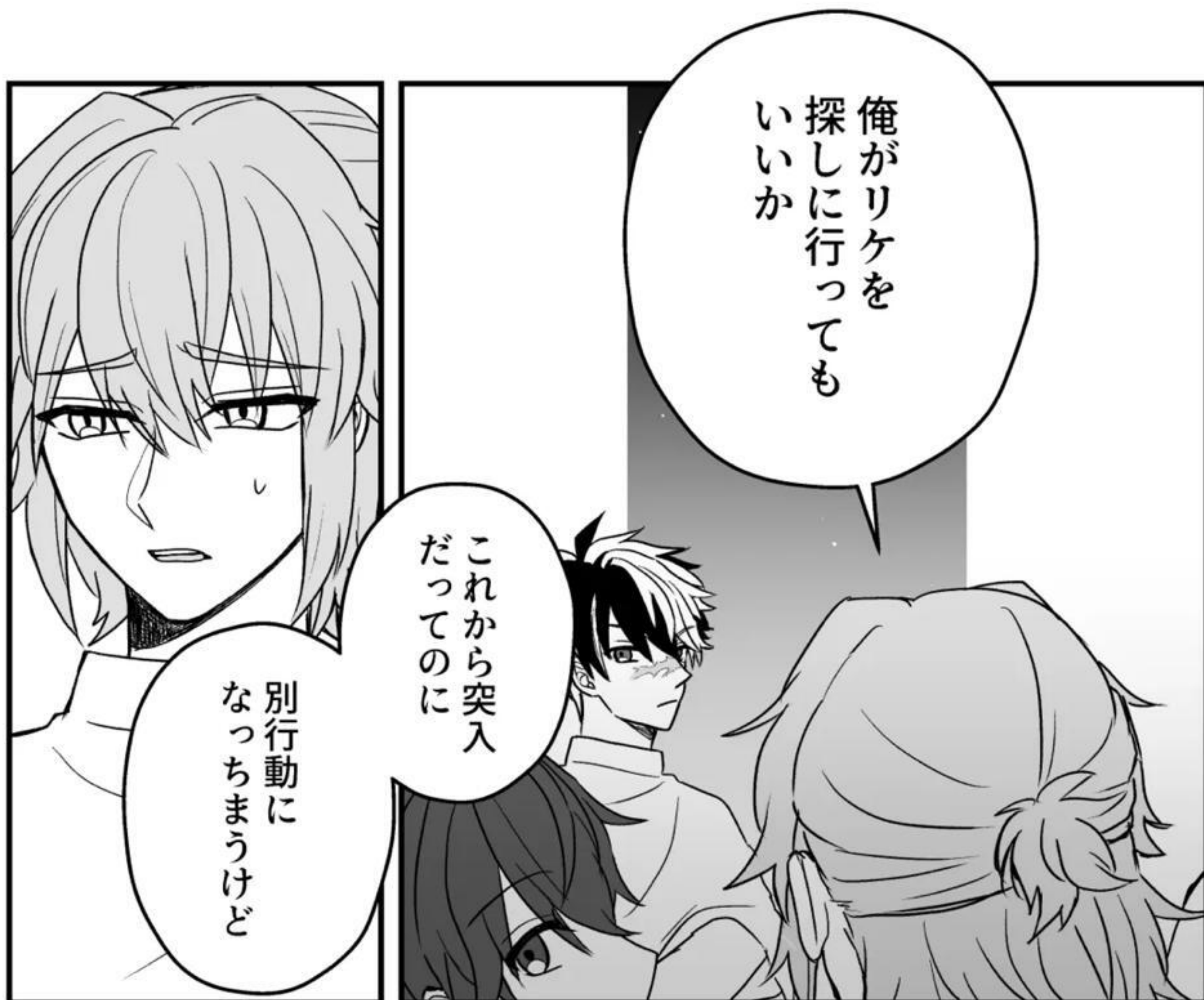
確かに
あそこからは
リケの気配を
感じないね

もしかして
どこかに
閉じ込められて
いるのでは……

その可能性は
十分考えられる

彼は一度
外の世界を
見ているから……

……あのさ





あの場所だけ

やけに強い
封印魔法が
かけられている

まさかな……



いなければ
いないでいい

リケ……
いるか？

……ネロ？



リケ！
そこに
いるんだな



はい

司祭様たちが
礼拝の時間に
迎えに来ると
言っていたんですが

忘れられている
んでしょうか……

——わざと
ハメたのか

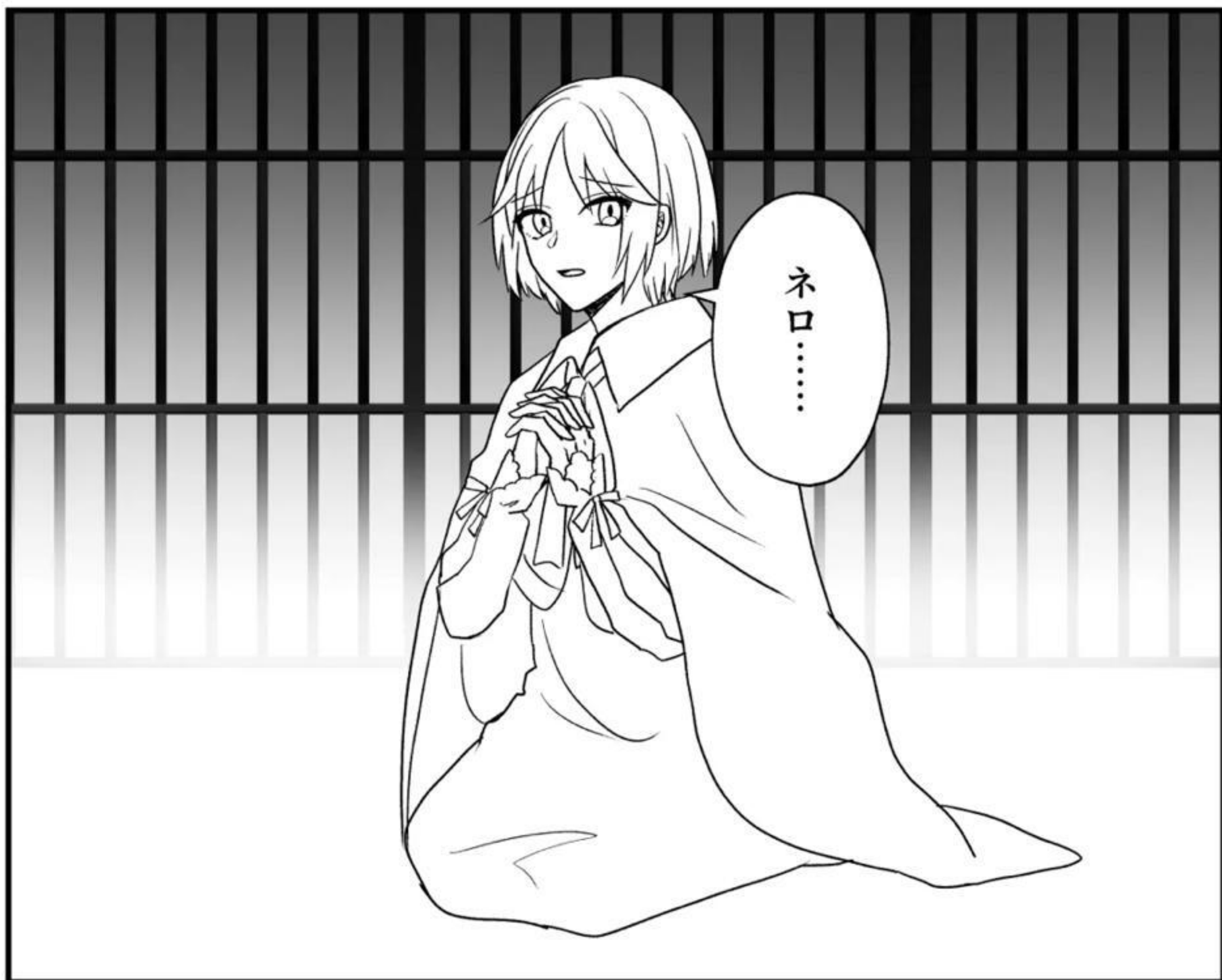
……リケ
壁からちよつと
離れてろ

分かりました

アドノデイス

オムニス！！









この教団にいる
魔法使いは
僕一人でしたよ

リケ！

お前をここまで
連れてきたやつは
どんな奴だった

はじめは
若い短髪の男性でした

途中からは――

今日という
良き日に
良く集まって
くれました





穢れし者を
重用する
政府と共に

悪しきものは
全て罰しましょう



サテイルクナート

ムルクリード



な
なんだ

何が起きた…!!?





羊飼いの兄ちゃん
やるじゃねえか

……どうも

…衛兵が
あんなにも
容易く……

くそっ

どこに行くの？
司祭様

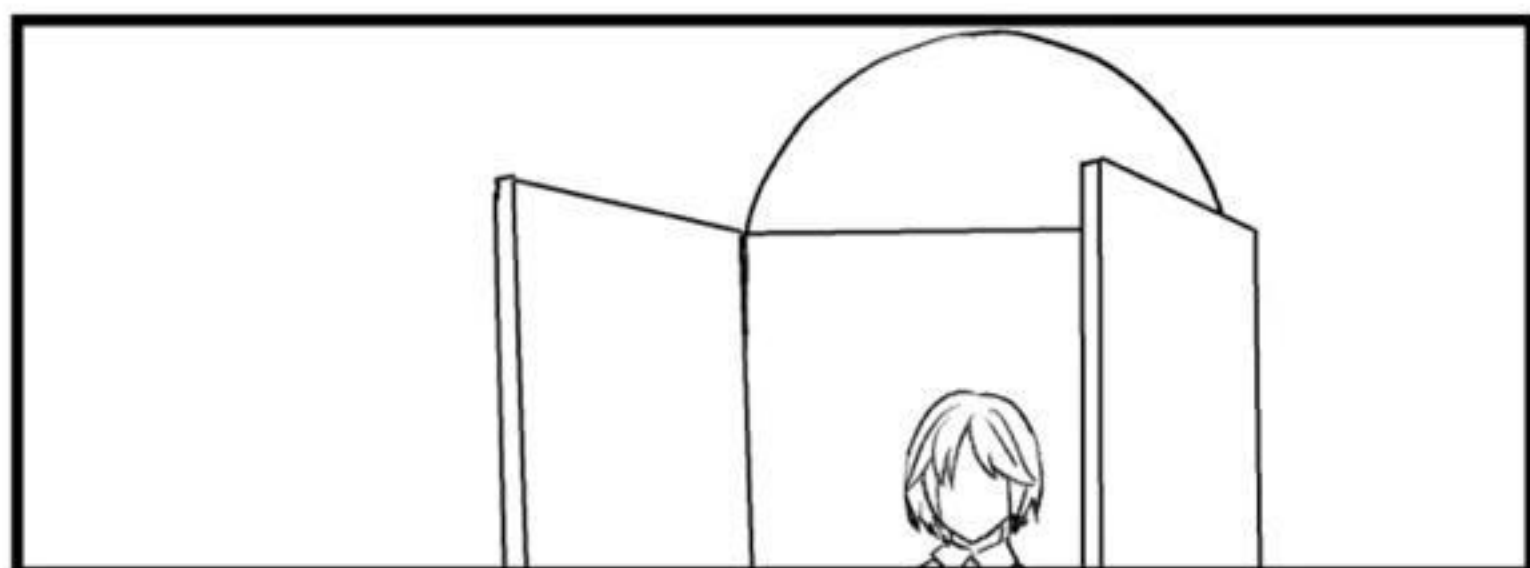
えっ

司祭様には
色々聞かなきゃ
いけないことが
あるから

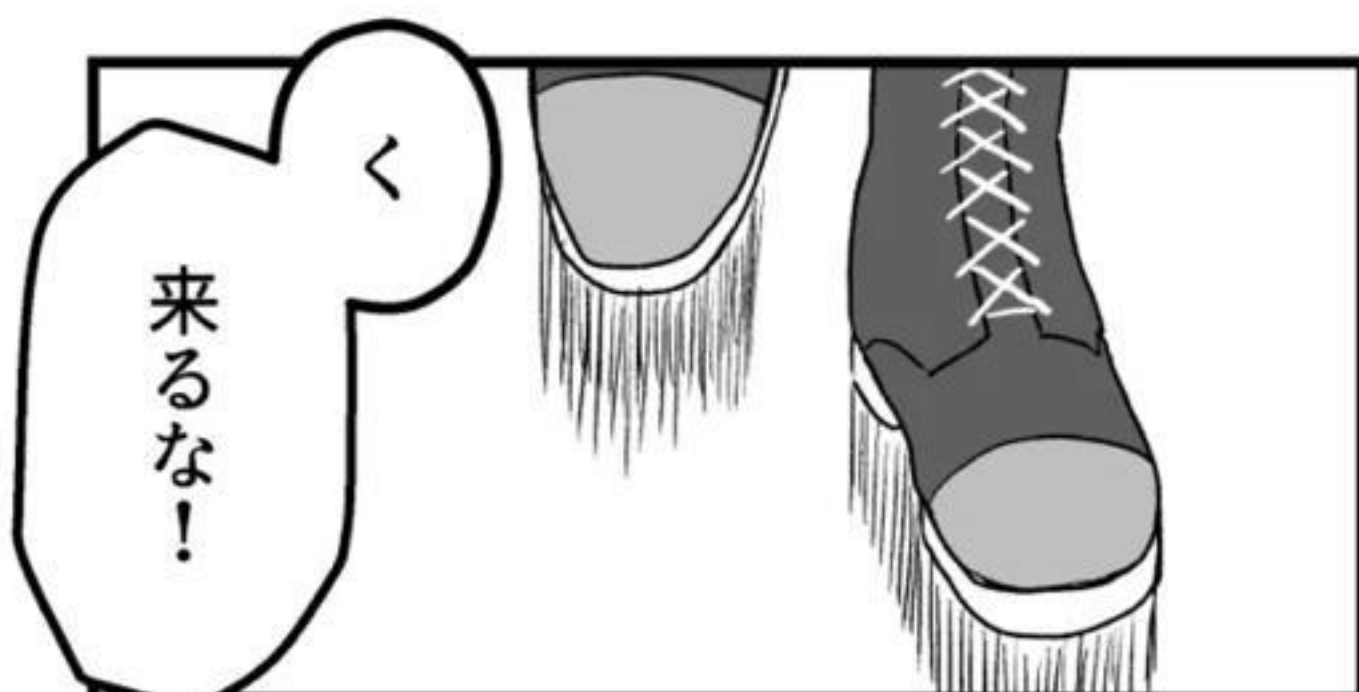
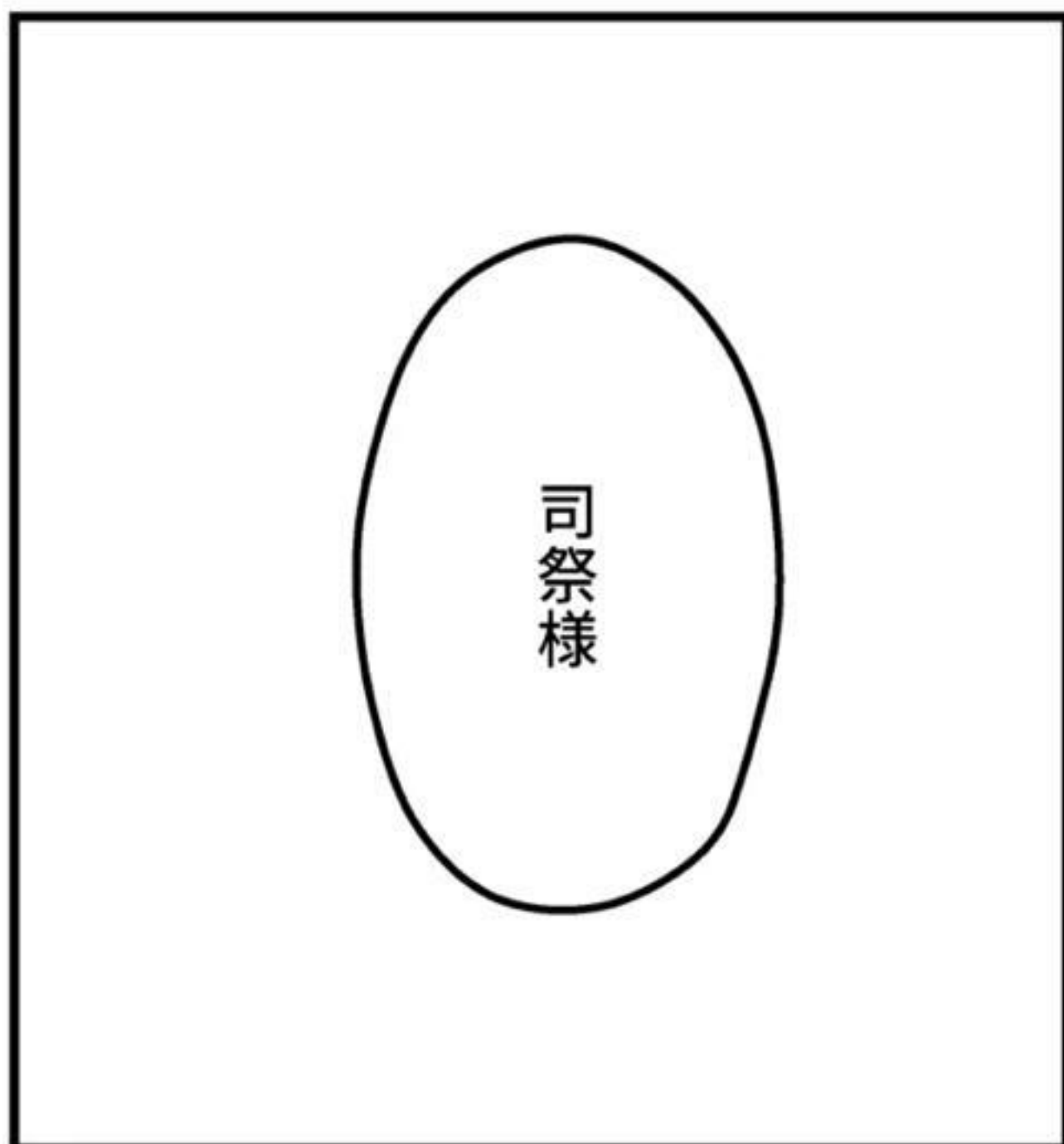
逃がしては
いけませんって
シャイロツクが
言ってたよ











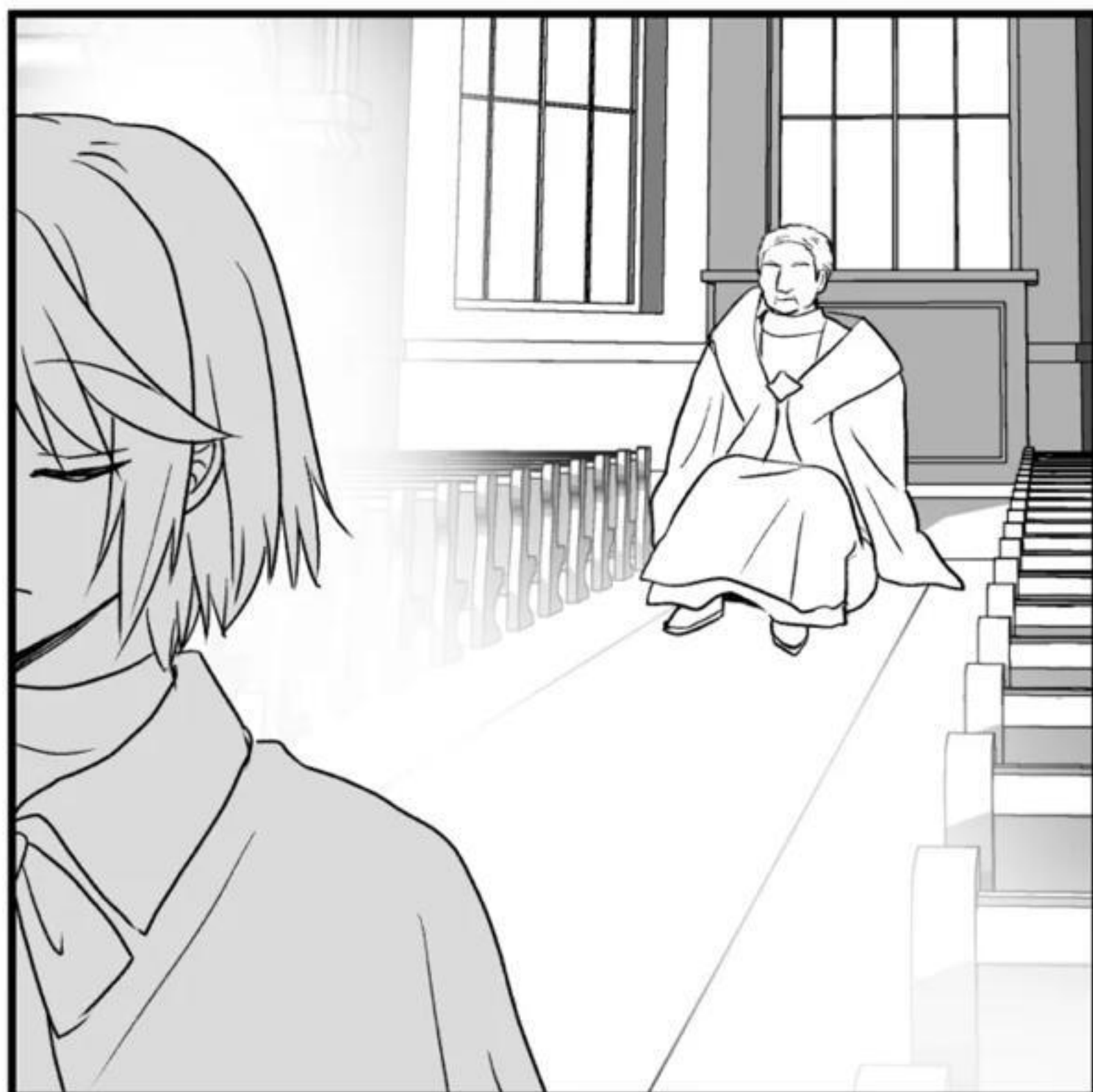


あ

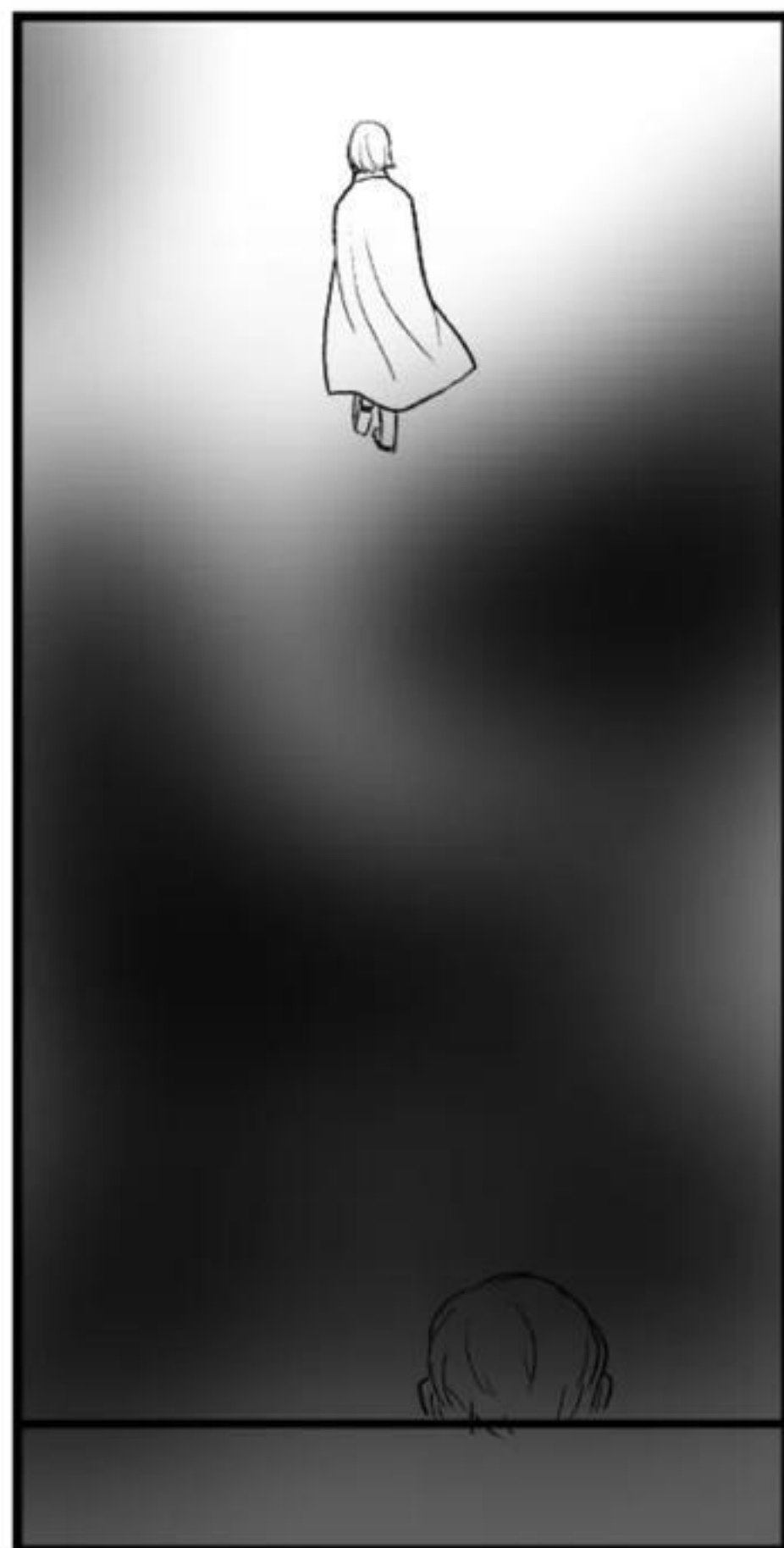
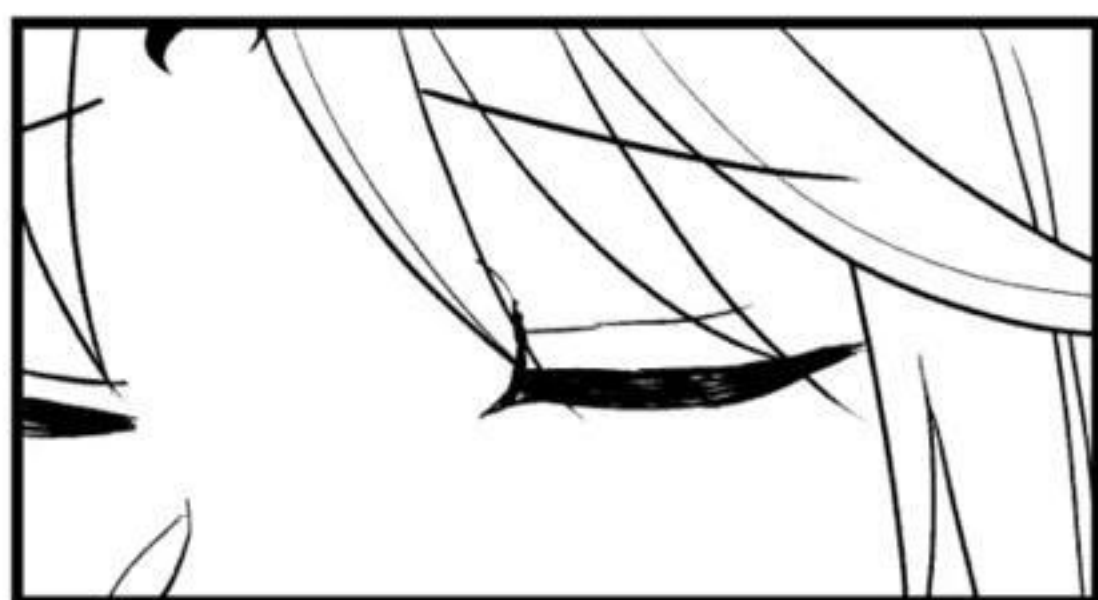
…消えた
だなんて

嘘をついて
ごめんなさい

紋章…!?

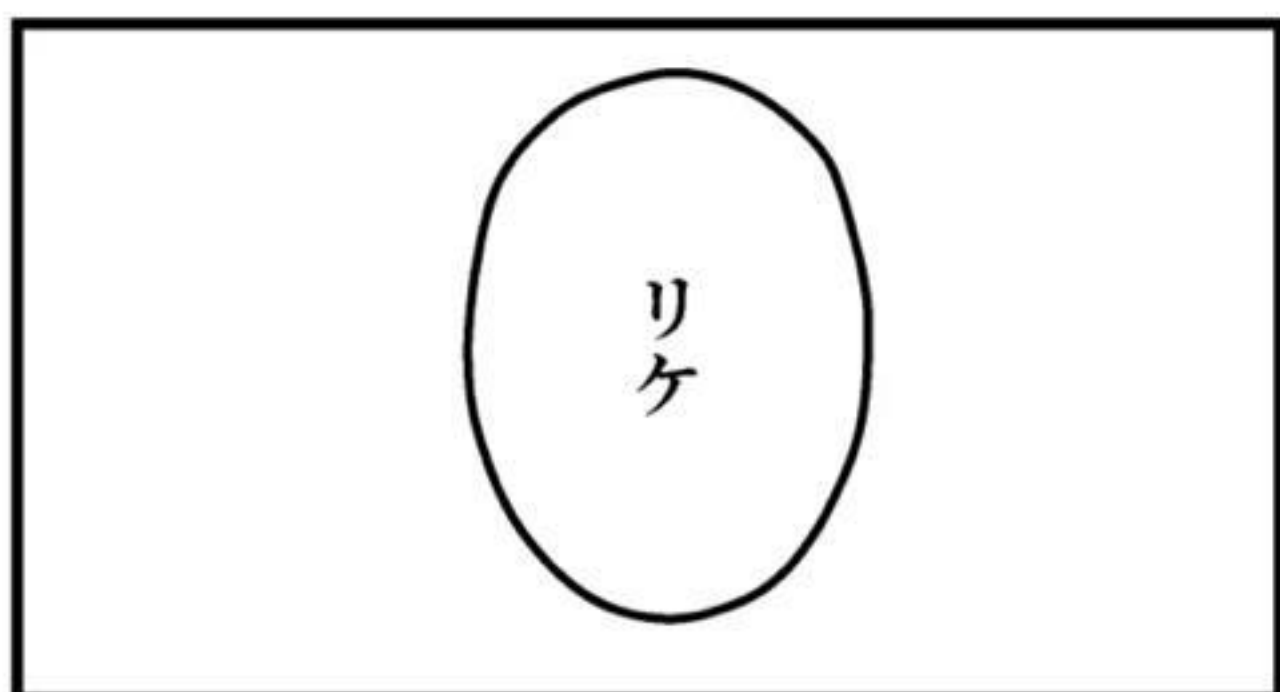








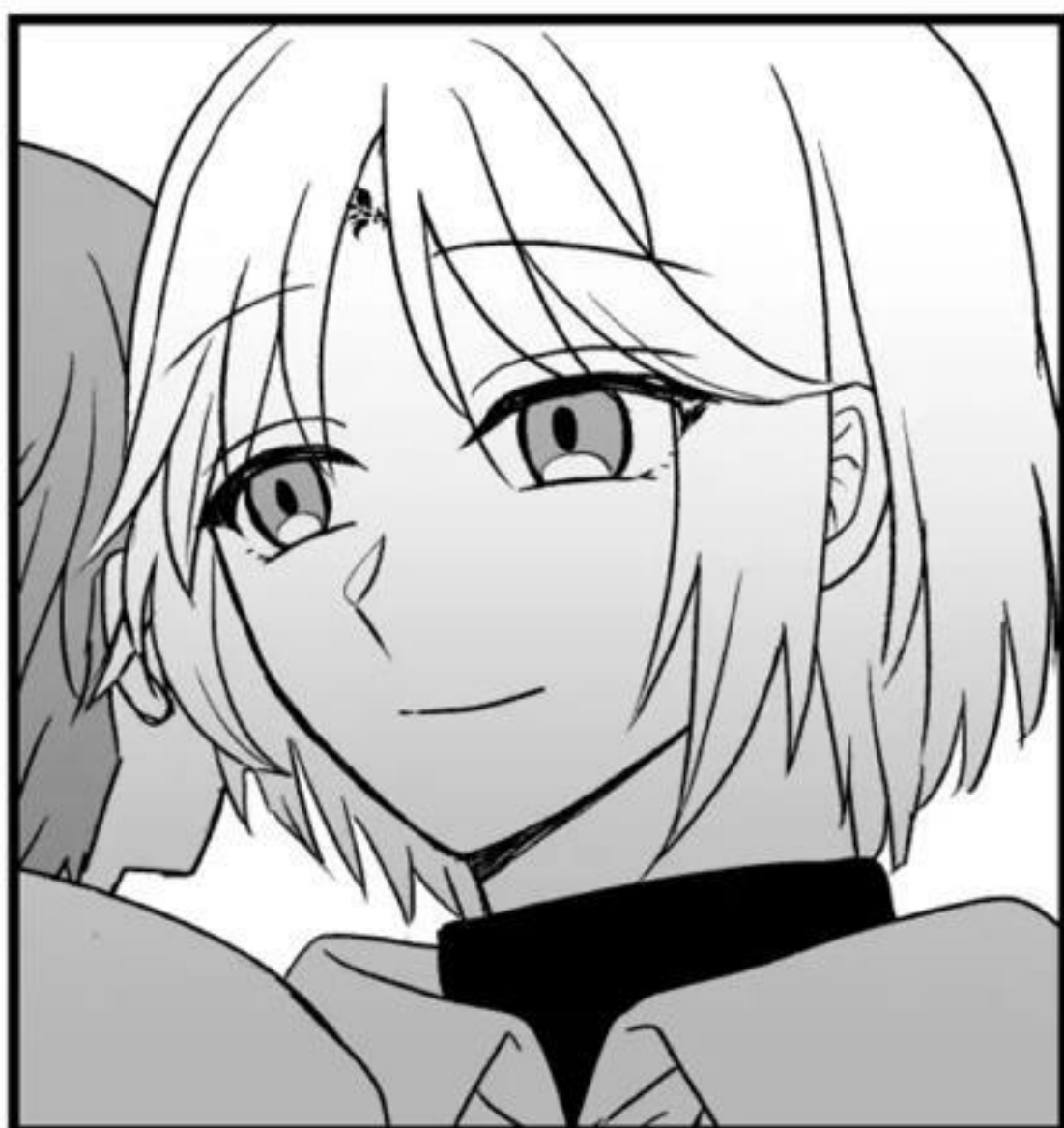












リケ

おかえりなさい！

ただいま！

今回も本当に
お疲れさま
でした！

難しい依頼だったのに
無事に解決してくださって

ヴァインセント殿下も
喜んでらっしゃいましたよ

クッククロビン
すっごく
嬉しそう！

そりゃ
そうですね

火事があったのに

皆さんが
無事に帰ってきて
くれたんですよ！？

……おひとり
行方不明ですが……

その一人というのは
誰なんですか

助祭の方です

助祭なら魔法使いでしょう
自分で逃げているのでは

えっ？ 教団に
登録されているのは
人間の方ですが……

ほら
ここです

えっと確か
顔写真も
ありますよ



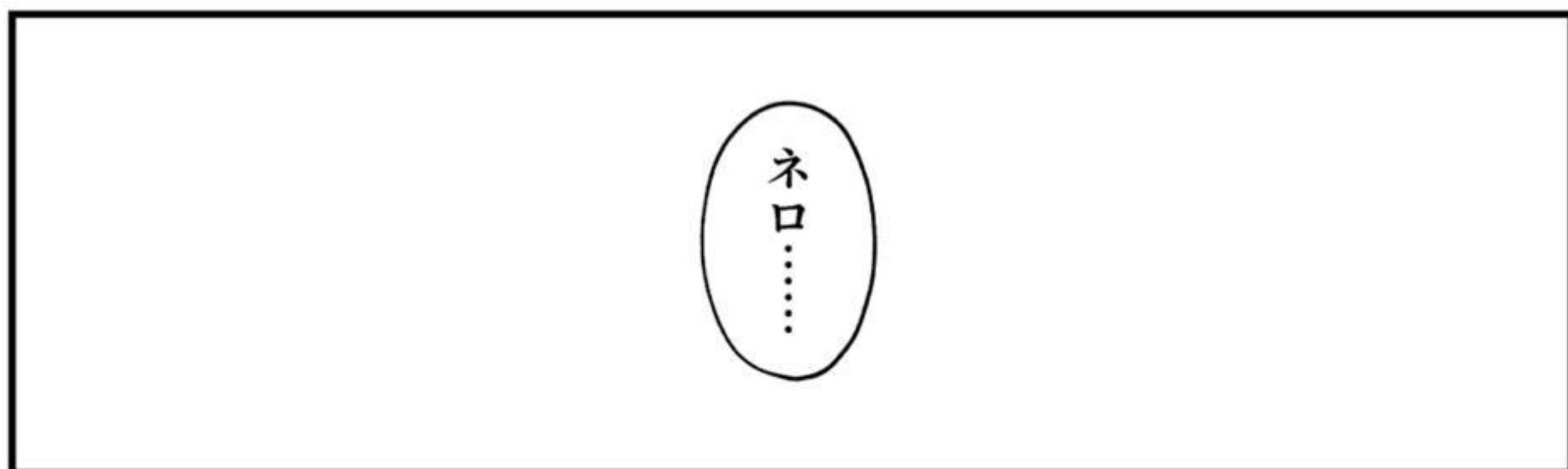
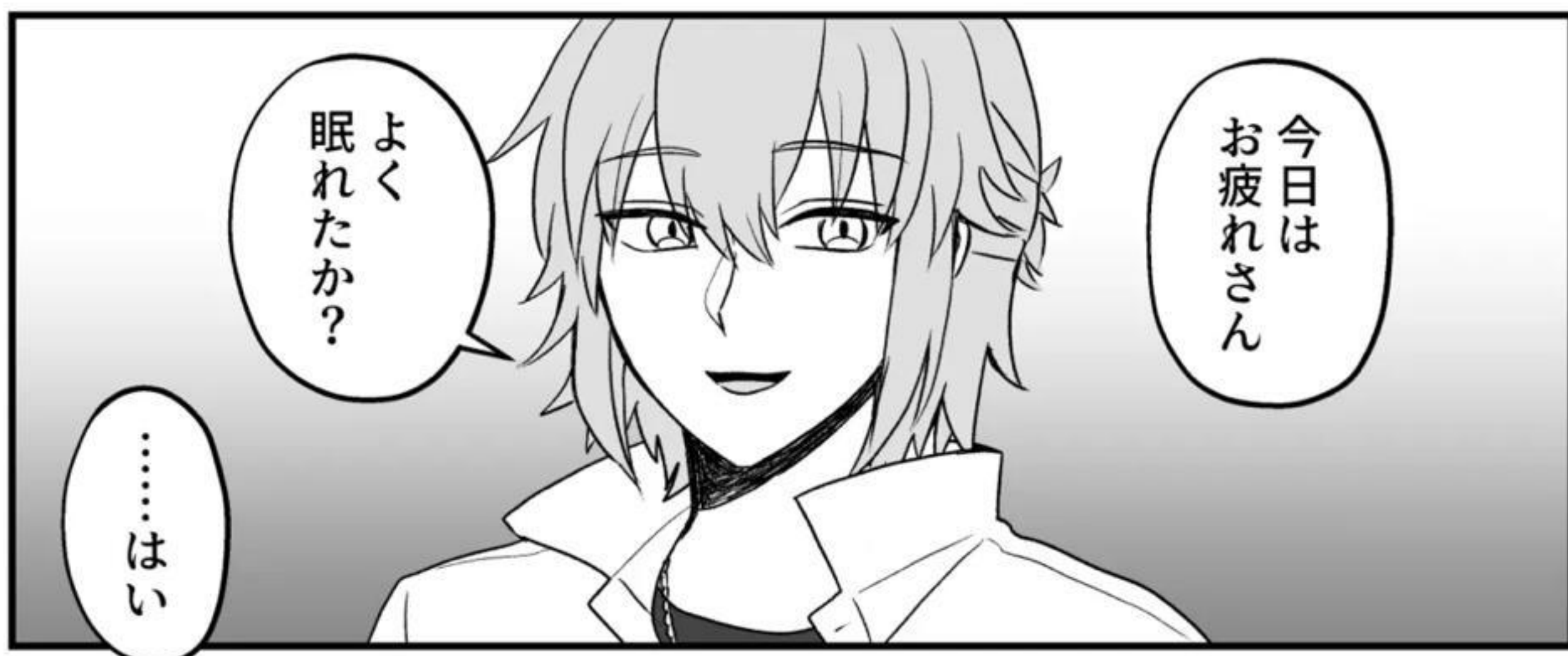


くく……

はははははは

ネロ
いますか？

ああ





……今まで

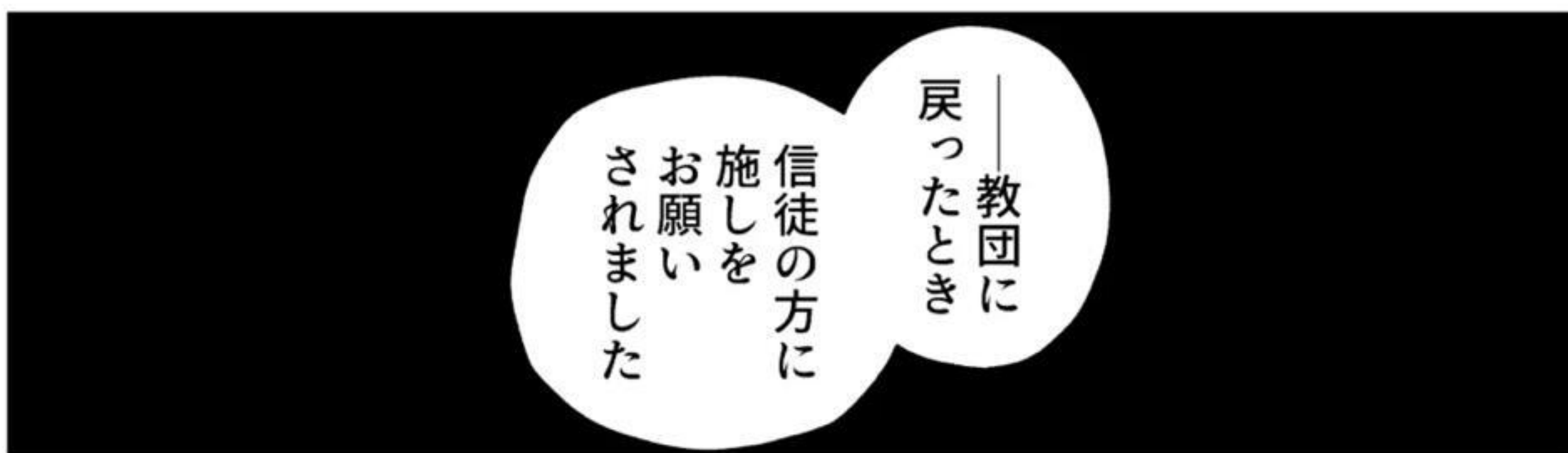
ごめんなさい



教団にいる間

魔法舎に
戻ってから

ずっと
考えていました



——教団に
戻ったとき

信徒の方に
施しを
お願い
されました



何か
されたのか

いえ

僕の様子を
見たからか
すぐに取り下げて
くれました

良かった

……そのとき
とても気持ち悪いと
感じたんです

僕も
ずっと

ネロに
同じことを
していました

ネロ

僕のが
気持ち悪いですか

お願い

嫌いに
ならないで……

……リケ



——ネロは

僕とのキスが
嫌ではない？

ああ

——それ以上の
ことがしたい
と言っても

気持ち悪く
ないですか？

…ああ

ネロと
セックスしたい

と言っても
怒りませんか？

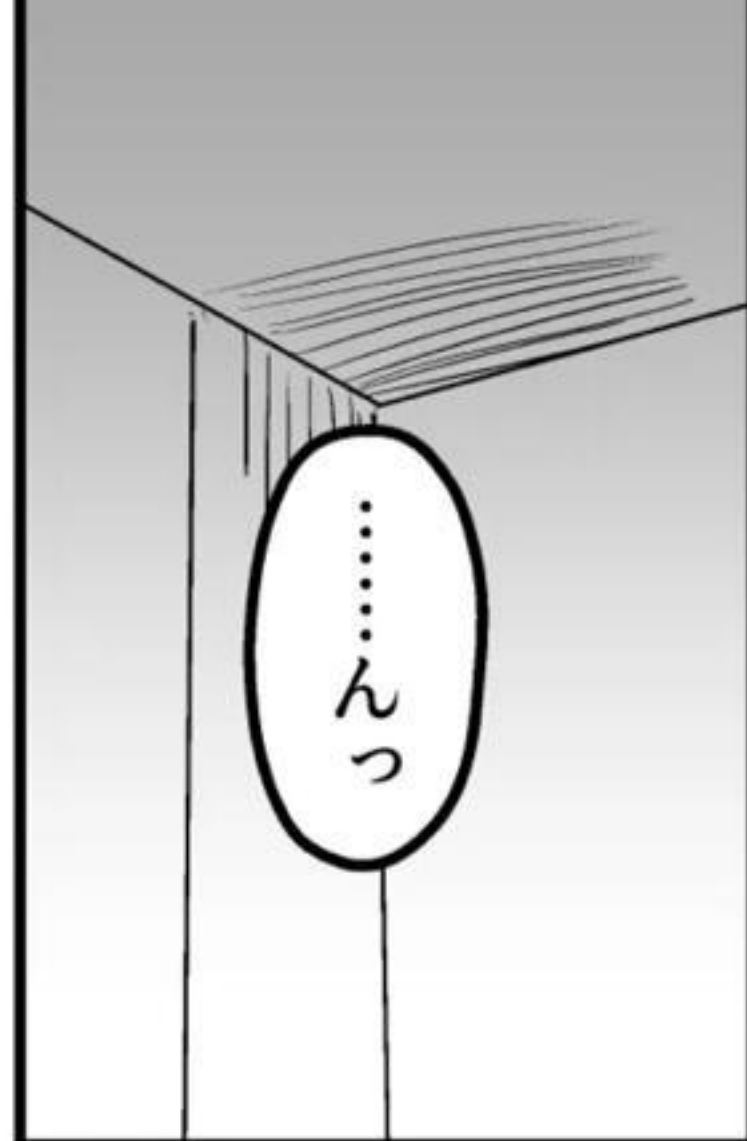
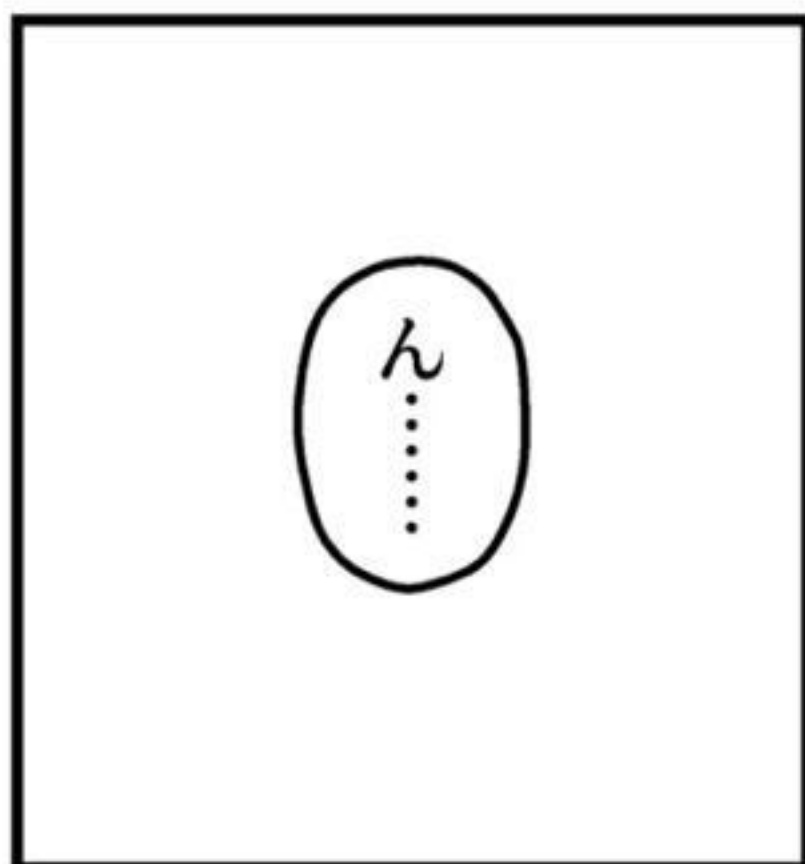
え…

男性とも
セックスできると
教えてくれたのは
ネロです

……ちよっと
待ってな

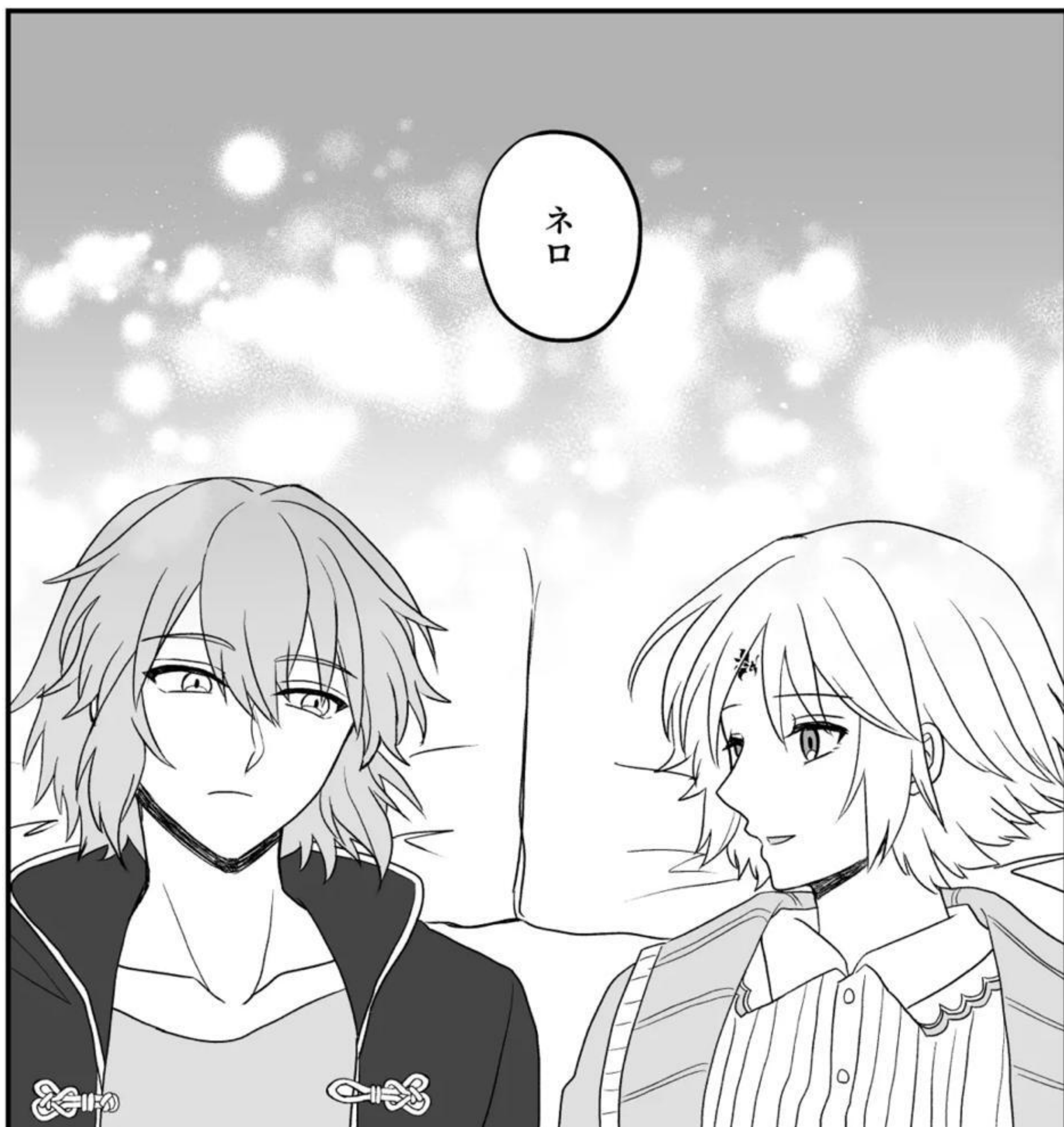
準備

するから……









僕のことを
否定しないでくれて
ありがとう

その優しさが
とても嬉しかったです

……それは

俺がりけに
嫌われたくない

臆病なやつだった
ってだけさ

僕が嫌いに？

そんなこと
ありえません

はは

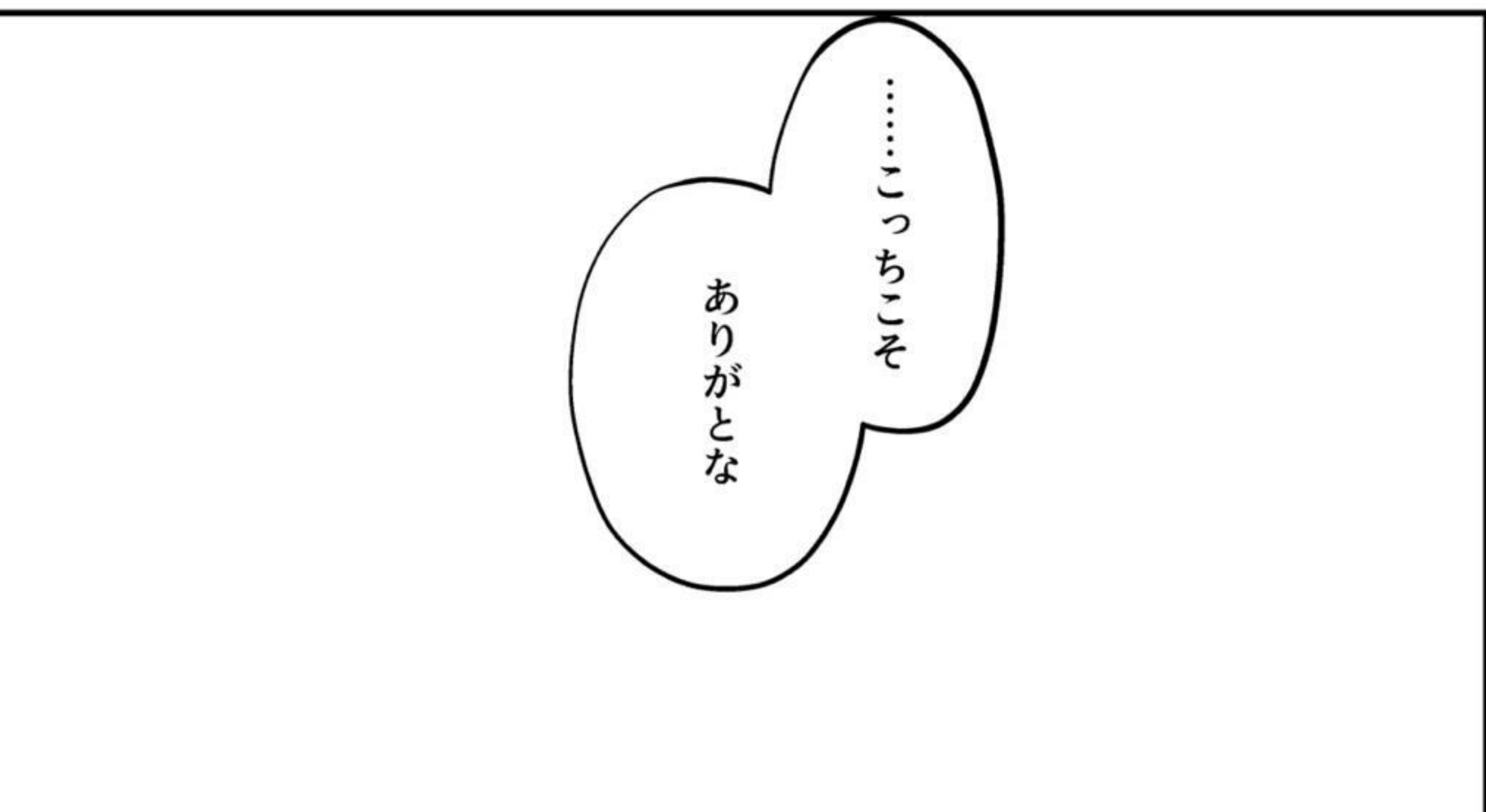
ありがとな

ちゅ

好きです

もう！

本当のこと
なのに



Sub Rosa

発行日 2022/12/18 twitter @syk59NKpg
発行 Fiore Rosso(サヨコ) Pixiv 79614435
連絡先 ymd3yk@gmail.com 印刷所 STARBOOKS 様

リケネロプチ「ありがとうおやすみ」開催おめでとうございます

オークションへの出品/無断転載厳禁

処分するには同人誌専門中古書店への売却、もしくは内容が分からないようにして可燃ゴミとして破棄をしてください。

↓ 「読んだよ」という方はWaveboxにて本の絵文字を送っていただけると喜びます
↓ 感想などある場合も以下かDMまでご連絡いただけますと嬉しいです



Wavebox

【返信方法】
送信者限定(ログイン必要)
もしくは@null



お題箱

【返信方法】
@null